

第5回緊急対策本部会議

(平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震)

平成23年3月12日11時30分～

於：官邸4階 大会議室

議 事 次 第

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 開会 | 【内閣官房長官】 |
| 2. 内閣総理大臣 | 【内閣総理大臣】 |
| 3. 各省庁からの報告 | |
| 地震情報等について | 【国土交通大臣】 |
| | 【気象庁長官】 |
| 対応状況等について | 【防災担当大臣】 |
| | 【経済産業大臣】 |
| | 【国家公安委員会委員長】 |
| | 【総務大臣】 |
| | 【外務大臣】 |
| | 【厚生労働大臣】 |
| | 【国土交通大臣】 |
| | 【防衛大臣】 |
| | 【農林水産大臣】 |
| 4. 内閣総理大臣 | 【内閣総理大臣】 |
| 5. 閉会 | 【内閣官房長官】 |

緊急災害対策本部会議配席図

～官邸 4階 大会議室～

スクリーン開閉
操作SW 画面・音声操作卓

入口

大臣秘書官等



大臣秘書官等



入口

内閣審議官・内閣参事官・内閣府参事官・各省庁随行者



平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震について(第19報)

平成23年3月12日(11:00)現在
緊急災害対策本部

1. 地震の概要(気象庁)

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震

(1) 発生日時 平成23年3月11日14時46分頃

(2) 震源及び規模(推定)

三陸沖(北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東13.0km付近)、
深さ約24km、マグニチュード8.8(暫定値)

(3) 各地の震度(震度5強以上)

震度7 宮城県北部

震度6強 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、
栃木県北部・南部

震度6弱 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、
埼玉県南部、千葉県北西部

震度5強 青森県三八上北、岩手県沿岸北部、秋田県沿岸南部・内陸南部、
山形県村山・置賜、群馬県北部、埼玉県北部、千葉県北東部・南部、
東京都23区、新島、神奈川県東部、山梨県中部・西部、
山梨県東部・富士五湖

(4) 津波

3月11日14時49分 津波警報(大津波)を発表 →16時08分 追加発表
→18時47分追加→21時35分追加→22時53分→3月12日03時20
分追加

津波警報(大津波) 岩手県、宮城県、福島県、北海道太平洋沿岸中部・東部・西
部、青森県太平洋沿岸、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島、青森
県日本海沿岸、千葉県内房、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、和
歌山県、徳島県、高知県

高いところで3m以上の津波が予想される。

津波警報 愛知県外海、三重県南部、宮崎県、種子島・屋久島地方、奄美諸島・ト
カラ列島、北海道日本海沿岸南部、陸奥湾、東京湾内湾、伊勢・三河湾、
淡路島南部、愛媛県宇和海沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、大分県豊後水道沿
岸、鹿児島県東部、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・
八重山地方、有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸

高いところで2m程度の津波が予想される。

津波注意報 オホーツク海沿岸、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、香川県、

愛媛県瀬戸内海沿岸、秋田県、山形県、新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登、広島県、山口県瀬戸内海沿岸、福岡県瀬戸内海沿岸、北海道日本海沿岸北部、福岡県日本海沿岸、佐賀県北部、壱岐・対馬、石川県加賀、福井県、京都府、兵庫県北部、鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸

高いところで0.5m程度の津波が予想される。

津波の観測値（検潮所）（気象庁12日05:07、抜粋）

えりも町庶野	最大波	15:44	3.5m
宮古	最大波	15:21	4.0m
大船渡	最大波	15:15	3.2m以上
釜石	最大波	15:21	4.1m以上
石巻市鮎川	最大波	15:20	3.3m以上
相馬	最大波	15:50	7.3m以上
大洗	最大波	16:52	4.2m

津波の観測値（GPS）（気象庁12日05:07、抜粋）

岩手釜石沖	最大波	15:12	6.8m
宮古沖	最大波	15:12	6.3m
気仙沼 広田湾沖	最大波	15:14	6.0m

※上記は沖合での観測地であり、沿岸では津波はさらに高くなる。

長野県北部を震源とする地震

(1) 発生日時 平成23年3月12日03時59分頃

(2) 震源及び規模（推定）

長野県北部（北緯37.0度、東経138.9度）で、震源の深さは約8km（暫定値）
マグニチュード6.7（暫定値）

(3) 各地の震度（震度5強以上）

震度6強	長野県北部
震度6弱	新潟県中越
震度5強	群馬県北部、新潟県上越

(1) 発生日時 平成23年3月12日04時32分頃（余震）

(2) 震源及び規模（推定）

長野県北部（北緯37.0度、東経138.6度）で、震源の深さは約10km（速報値）
マグニチュード5.8（速報値）

(3) 各地の震度（震度5強以上）

震度6弱	長野県北部
------	-------

原子力発電所事故の状況

1. 事象の概要

(1) 発生日時 (情報入手時刻)

平成23年3月11日 (金) 15時42分頃

(2) 事故発生施設の概要

事業所の名称：東京電力(株)福島第一原子力発電所 (1、2)

所在地：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

原子力施設：沸騰水型原子炉 (BWR)

出力：1号機 (4.6万kW)

2号機 (7.8万4千kW)

3号機 (7.8万4千kW)

4号機 (7.8万4千kW)

5号機 (7.8万4千kW)

6号機 (11.0万kW)

(i) 事故の発生・進展経緯

11日

15:42 全交流電源喪失のため (原災法10条報
1、2、3号機に関し、原子力災害対策特
定に基づく特定事象発生 of 通報

15:45 オイルタンクが津波により流出

16:36 1、2号機に関し、非常用炉心冷却装置
報告事象)

※注水状況が分からないため、念のため
と判断

16:45 2号機に関し、原子力災害対策特別措置法
に基づく特定事象発生 of 通報

20:30 1、2、3号機、中操照明確保準備中、
2号機については、優先的に電源車つな

21:00 D/D消化ポンプを起動し、炉圧が低下
を執っている。

21:54 2号機に関し、水位計が復帰し、水位L

23:00 1号機に関し、タービン建屋内で放射線

23:30 電源車の到着状況 「電源車の状況につ

12日

00:00 1号機に関し、非常用復水器で原子炉蒸気
2号機に関し、仮設電源により原子炉水

定

3号機に関し、原子炉隔離時冷却系で原
4、5、6号機に関し、安全上の問題が

00:30 1号機に関し、ドライウェル圧力が6.0

- 高使用圧力：427Kpa) を超えている可能性があるため、調査中
- 01:57 1号機のタービン建屋内で放射能レベルが上がっている。
- 03:00 原子炉格納容器内の圧力をベントを開放して降下させる措置を行う予定

ドライウエル2次ベントの場合、総量評価
 ソース：重大事故
 容量：ドライウエル+S/P=5600m³
 圧力：8気圧→1気圧

- 03:33 2号機に関し、RCIC（原子炉隔離時冷却系）ポンプが運転していたことを確認
- 04:00 1号機に関し、ドライウエル圧力が840Kpa（設計上の最高使用圧力：4.27Kpa）を程度まで上昇している可能性があるため、調査中
- 07:51
- ・1号機に関し、海水ポンプへのバッテリー接続作業、冷水タンクから注水作業、ベントの電磁弁電源復旧作業を実施中
 - ・2号機に関し、電源車による電源確保作業実施中
 - ・5号機に関し、ベント降圧中
 - ・5、6号機に関し、注水機能確保、冷却系統復旧
- 08:30 1号機に関し、09:00頃より、原子炉格納容器内の圧力降下のためベントを開放予定
- 09:07 1号機に関し、ベントを開放
- 09:10 モニタリングポスト
- MP6 5.1μSV/h（開始前と変わりなし）
- MP8 2.5μSV/h（開始前と変わりなし）
- 08:30 消火用ポンプで原子炉への注水を実施中

(ii) 放射性物質の漏えいに関する情報

11日

- 15:12 モニタリングポスト異常なし（原子力保安院15:12）
 福島原発は外観異常なし（警察庁15:12）

12日

- 04:55 発電所構内における放射線量が上昇したことを確認
- 06:24 モニタリングにより、放射能物質測定
- 正門：0.07→1.59μSV/h（4:00→4:45）
 展望台：0.07→0.57μSV/h（4:00→4:45）

- (iii) 稼働状況 1、2、3号機は自動停止
 （4、5、6号機は点検停止中）

- (iv) 被害状況、避難状況等（未確認情報を含む）

○人的被害 社員3名(軽傷)

協力会社2名(うち1名両足骨折)

行方不明2名(4号タービン建屋内)

管理区域内で17名が顔面に放射性物質が付着(病院への救急搬送を要しない程度の被ばく)

○避難状況 第一原発職員は避難中。

11日

20:50 福島県が発電所半径2キロの住民に避難指示

21:23 内閣総理大臣から、福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長及び浪江町長に対し、避難指示。

福島第一原子力発電所1号機から半径3Km圏内の住民は、避難すること。

また、福島第一原子力発電所1号機から半径10Km圏内の住民は、屋内待避すること。

現地対策本部長から新たな指示が出された場合には、その指示に従うことが必要である。

区域内の居住者等に対して、その旨周知されたい。

12日

00:15 対象住民の避難開始

- ・双葉町 3、057人(01:45現在 3Km以内避難完了)
- ・大熊町 2、805人(01:45現在 3Km以内避難完了)
- ・大熊スポーツセンター 約1200人

05:44 内閣総理大臣から、福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長及び浪江町長に対し、避難指示。

福島第一原子力発電所から半径10Km圏内の住民は、避難すること。

現地対策本部長から新たな指示が出された場合には、その指示に従うことが必要である。

区域内の居住者等に対して、その旨周知されたい。

07:50現在 避難は完了していない。

・富岡町 14、808人

・大熊町 11、363人

※約4000人がバスにより避難中

・双葉町 7、243人

※双葉町約2、250人については、道路状況が悪く車両による避難は困難であり対応未定

・浪江町 17、793人 合計51、207人

- 物的被害 1、2、3号機で使用済プールスロッシング
重油タンク流出
海水ポンプ機能喪失
4号機重油タンク脇にて火災発生

II 事業所の名称：東京電力(株)福島第二原子力発電所(1、2、4号機)

所在地：福島県双葉郡楢葉大字波倉字小浜作1.2

原子力施設：沸騰水型原子炉(BWR)

出力：1号機(110万kW)

2号機(110万kW)

3号機(110万kW)

4号機(110万kW)

(i) 事故の発生・進展経緯

11日

17:35 原子炉冷却材漏えい(原災法10条報告事象)

1号機に関し、原子力災害対策特別措置法第10条の規定に基づき特定事象発生の通報(17:50に通報)

18:33 原子炉除熱機能喪失(原災法10条報告事象)

※津波により海水ポンプの起動が確認できないため

3、4号に関し、原子力災害対策特別措置法第10条の規定に基づき特定事象発生の通報

20:00 1、2、3、4号機については外部電源確保

12日

00:00 1、2、3、4号機に関し、原子炉は停止し原子炉水位も安定

03:00 原子炉隔離時冷却系は停止中。1、2、3、4号機に関し、現在、復水補給水系で原子炉内に注水中

05:22 1号機に関し、圧力抑制機能喪失(原災法15条報告事象)

05:32 2号機に関し、圧力抑制機能損失(原災法15条報告事象)

05:40 1号機に関し、原子力災害対策特別措置法第15条の規定に基づき特定事象発生の通報

05:56 2号機に関し、原子力災害対策特別措置法第15条の規定に基づき特定事象発生の通報

06:07 4号機に関し、圧力抑制機能損失(原災法15条報告事象)

06:10 4号機に関し、原子力災害対策特別措置法第15条の規定に基づき特定事象発生の通報

※1、2、4号機はいずれも除熱能力が無い場合、圧力抑制室の温度100度を超過

08:30 原子炉格納容器内の圧力を低下させるライン構成を実施、設定値に到達しだい放出する。→全号機 12日0900以降

09:50 1号機、2号機、3号機、4号機に関し、ベント開放の準備開始

09:50 3km圏の住民(3,073世帯 8,218人)については、避難開始(10:16現在 2割程度避難完了)

(ii) 放射性物質の漏えいに関する情報

発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストの指示値は通常値であり外部への放射性物質の放出は確認されていない。

(iii) 稼働状況 14:48 1、2、3、4号機は自動停止

23:00現在、原子炉は停止し、原子炉水位も安定している

(iv) 被害状況、避難状況等(未確認情報を含む)

- 人的被害 1名心肺停止、1名軽傷(クレーン操縦室内)
被爆者なし
- 避難状況 確認中
- 物的被害 確認中

2. 政府の主な対応

11日

- ・14:49 J-ALERTで37市町村に対し、大津波・津波警報発信。
- ・14:50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・14:50 総理指示

①被災状況の確認

②住民の安全確保、早期の避難対策

③ライフラインの確保、交通網の復旧

④住民への的確な情報提供に全力を尽くすこと。

- ・15:00 緊急参集チーム協議開始

- ・15:08 緊急参集チーム協議確認事項

1. 被害情報の収集に万全を期すとともに、人命救助を第一義として、住民の避難、被災者の救援救助活動に全力を尽くす。
2. 被害の状況に応じ、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣部隊、海上保安庁の救援救助部隊、災害派遣医療チーム(DMAT)等による被災地への広域応援を行い、被災者の救援・救助をはじめとする災害応急対策に万全を期す。
3. 災害応急対策の実施にあたっては、地方自治体と緊密な連携を図る。
4. 被災地の住民をはじめ、国民や地方自治体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報を提供する。
5. 災害応急対策を政府一体となって推進するための緊急災害対策本部の設置に向けて準備を進める。

・ 15 : 14 緊急災害対策本部設置

・ 15 : 27 総理指示

「自衛隊は最大限の活動をすること。」

・ 15 : 37 第1回緊急災害対策本部 (15 : 56 終了)

災害応急対策に関する基本方針

本日14時46分頃に発生した地震は、東北を中心に北海道から関東地方にかけての広い範囲を中心に、地震動、津波等により、激甚な被害が発生している模様である。さらに、今後の余震により、被害が拡大する可能性も考えられる。

このため政府として、以下の基本方針に基づき、地方自治体と緊密に連携し、被災者の救援・救助をはじめとする災害応急活動に総力をあげて取り組むとともに、国民生活及び経済活動が早期に回復するよう全力を尽くす。

1. 災害応急活動が円滑に行えるよう、関係省庁は情報の収集を迅速に行い、被害状況の把握に全力を尽くす。

2. 人命の救助を第一に、以下の措置により被災者の救援・救助活動、消火活動等の災害応急活動に全力を尽くす。

(1) 全国から被災地に、自衛隊の災害派遣部隊、警察広域緊急援助隊、緊急消防援助隊、海上保安庁の部隊及び災害派遣医療チーム (DMAT) を最大限派遣する。

(2) 応急対応に必要な人員、物資等の緊急輸送路を確保するため、高速道路や幹線道路等の通行路の確保に全力を挙げる。

(3) 救援・救助活動等の応急対策を適切に進めるため、必要に応じて航空情報 (ノータム) の発出等により、関係機関、関係団体の協力の下、被災地上空及びその周辺空域における航空安全の確保を図る。

3. 被災地住民の生活の復旧等のため、電気、ガス、水道、通信等のライフラインや鉄道等の交通機関の復旧に全力を挙げる。

4. 応急対応に必要な医療物資、食糧、飲料水及び生活必需品、並びに緊急輸送路・ライフライン等の復旧のための人員、物資を確保するため、全国からの官民一体となった広域応援体制を確保する。

5. 被災地の住民をはじめ、国民や地方自治体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報を提供する。

・ 16 : 00 過ぎ 第2回緊急災害対策本部 (16 : 22 終了)

・ 16 : 25 官房長官指示

1. 全省庁の政務三役は、全員自省庁に登庁のこと。

2. 現在、地方にいる政務三役については、直ちに東京に戻ることに。ただし、東北地方に滞在している三役については、現地の状況を把握し、連絡すること。

・ 16 : 54 総理大臣記者会見

・ 18 : 20 防災担当大臣指示。

関係機関に、沿岸の車両運転者等に対しカーラジオを聞くよう呼びかけすること。

・ 18 : 42 政府調査団を宮城県に向け派遣。

・ 19 : 03 原子力災害対策本部の開催 (19 : 22 終了)

原子力緊急事態宣言発令

- ・ 19 : 23 第3回緊急災害対策本部 (19 : 38 終了)
- ・ 19 : 45 官房長官記者会見。
- ・ 20 : 10 官房長官指示
帰宅困難者の対策に全力をあげるため、駅周辺の公共施設を最大限活用するよう全省庁は全力を尽くすこと。
- ・ 20 : 18 政府調査団は陸自霞駐屯地に到着
- ・ 21 : 05 政府調査団は宮城県庁到着
- ・ 22 : 00 防災担当大臣指示
○各機関においては、明日、どういう救助をすべきかをよく考えて対応願いたい。例えば、山側、海側で違うはず。海側がより大変だ。どう助けるのか。ボートでやるのか。緊急に助けないといけないのは、どこなのか、などよく考えていただきたい。
○朝一番から適切な対応を願いたい。

12日

- ・ 00 : 15 官房長官記者会見
- ・ 07 : 30 政府調査団の派遣 (福島県) 予定
- ・ 07 : 30 政府調査団の派遣 (岩手県) 予定
- ・ 08 : 30 第4回緊急災害対策本部会議の開催
- ・ 08 : 53 政府調査団 (岩手県行き) が市ヶ谷を出発
- ・ 09 : 18 政府調査団 (福島県行き) が市ヶ谷を出発
- ・ 09 : 51 官房長官記者会見

原子力発電所事故への政府の対応

1. 政府の体制

11日

- 16 : 36 官邸対策室を設置
- 19 : 03 第1回原子力災害対策本部の開催 (19 : 22 終了)
原子力緊急事態宣言発令
- 19 : 45 官房長官会見 (19 : 57 終了)
- 21 : 23 総理指示
「福島第一原子力発電所から半径3 Km以内の住民に避難命令。3 Kmから1.0 Kmの住民に自宅待機の指示」
- 21 : 41 総理指示 (経済産業大臣より伝達)
「避難する際は、1.0 Kmより遠くに避難するように指示」

12日

- 00 : 15 官房長官記者会見
- 03 : 12 官房長官記者会見
- 05 : 44 総理指示
「福島第一原子力発電所から1.0 Km以内の住民は、圏外に避難せよ」

- 07:11 総理大臣による視察 (到着)
- 09:15 第2回原子力災害対策本部の開催

2. 各省庁の体制

・経済産業省

11日

- 15:42 警戒本部設置、現地警戒本部設置
- 21:14 池田経済産業副大臣の福島第一原子力発電所の原子力災害現地対策本部入りのため、防衛省をヘリコプターにて出発
- 22:30 池田経済産業副大臣が大滝根分屯基地到着

12日

- 00:00 池田経済産業副大臣が現地本部 (福島県原子力センター) 到着
- 03:05 海江田大臣、寺坂保安院長、東京電力小森常務が記者会見
- 05:25 東京ヘリポートからバッテリーを搬送すべく、東京電力と防衛省で調整中

・原子力安全・保安院

11日

- 14:46 災害対策本部設置
- 20:50 福島県対策本部が福島第一原子力発電所1号機の半径2kmの住人 (1864人) に避難指示
- 21:55 東北電力から21:00現在の状況につき発表。福島第一原子力発電所の運転状態が不明であり、原子炉水位確認できない。原子炉水位低下により放射性物質が放出される恐れがあるため、自治体から半径2km以内の地域住民に対して避難勧告が出ている
- 22:00 福島第一2号機の今後のプラント状況の評価結果 (放出される放射性物質の量は解析中)
 - (実績) 14:47 原子炉スクラム (RCIC起動)
 - (実績) 20:30 RCIC停止 (原子炉への注水機能喪失)
 - (実績) 21:50 水位計復活 (L2:燃料上部より約3mの水位)
 - (予測) 22:50 炉心露出
 - (予測) 23:50 燃料被覆管破損
 - (予測) 24:50 燃料熔融
 - (予測) 27:20 原子炉格納容器設計最高圧 (527.6kPa) 到達
原子炉格納容器ベントにより放射性物質の放出
- 23:03 福島県内堀副知事が原子力センターに到着

23:10時点 電源車状況

出発地:東北電力、台数:高圧2、状況:福島オフサイトセンターに到着 (21:09)

出発地:水戸、台数:高圧1・低圧1、状況:移動中 (22:48)

12日

- 01:55 福島第一原発2号機において、津波の危険性のため電源接続作業中止。
02:00から作業を再開し4時間程度の作業時間を見込んでいる。
- 02:29 福島第1原発2号機で圧力が上昇した格納容器から原子炉建屋を通じて外部に蒸気を逃がすことを検討している。

・警察庁

11日

- 14:46 警備局長を長とする災害警備本部を設置
- 15:14 長官を長とする緊急災害警備本部に格上げ
- 15:07 各都道府県に対し、広域緊急援助隊の派遣を指示
(12日04:50現在 警備・交通部隊2019名、刑事部隊120名)
- 21:30 福島第一原子力発電所周辺の避難誘導対策として、福島県警の部隊70人を派遣
- 22:40 警察官120名(双葉警察署80名、県機10名、官機30名)が避難対応中
第2機動隊30名が現場に急行中(23:15到着予定)

12日

- 05:25 電源車状況(53台出発、うち9台到着。直近まで29台きている)
- 07:30 電源車状況(53台出発、うち14台到着、まもなく到着11台、オフサイトセンター19台待機中、現場へ移動中9台)

・防衛省

11日

- 18:35 原発災害対応のため中央即応集団110名、化学防護車4両を待機(朝霞駐屯地)
- 18:45 44普通科連隊(福島)の80名が福島第一原子力発電所のオフサイトセンターへ出発(21:00到着予定)
- 19:30 原子力災害派遣命令を受け、大宮駐屯地の陸上自衛隊化学防護車を福島第一原子力発電所に出動
- 22:15 自衛隊80名が現地到着

12日

- 03:35 中央特殊武器防護隊の先遣隊2名が福島第一原子力発電所のオフサイトセンターへ到着
- 04:50 中央特殊武器防護隊(朝霞)の主力約22名、車両7がオフサイトセンターへ前進中
 - ・第44普通科連隊の人員約50名により、原発地域において電源運搬支援を実施中
 - ・第44普通科連隊の人員約30名により、オフサイトセンター周辺において救護活動を実施中
 - ・第6科学防護隊(郡山)の人員約10名が駐屯地を出発
 - ・北部方面隊の人員約900名、車両約250両を米艦艇による輸送を

調整中

・中央特殊武器防護隊の主力約90名前進準備中（活動場所は確認中）

・海上保安庁

11日

21:16 原子力緊急事態・退避命令区域に関するNAVTEX警報（～21:47）
22:00 福島第一原子力発電所の10km圏内海域における通行船舶等の調査及び
指導のため巡航船が急行、航空機についても発動指示
海洋情報部庁舎及び海上保安試験研究センターにおいて帰宅困難者の
受け入れ準備

12日

03:06 福島第一原子力発電所から放射性物質の放出の可能性ありに関するNAVTEX航行警報済み。
06:09 福島第一原子力発電所を中心とする半径10km避難指示
06:15 福島第一原子力発電所を中心とする半径10km圏内の海域に船舶がないことを確認
07:30 福島第二原子力発電所を中心とする半径10km圏内の海域に船舶がないことを確認

・国土交通省

12日

01:10 福島第一原発住民避難を目的とした緊急輸送のため合計9事業者60台のバスを確保
05:00 10業者65台のバスを確保

・外務省

12日

00:00 39ヶ国・地域から支援申し入れあり、数ヶ国（オーストラリア、米国、韓国、メキシコ、ニュージーランド）に対し救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請

5. モニタリング情報

・福島第一原子力発電所正門付近に設置中のモニタリングカーによる情報

12日 03:30 風向：西、風速：0.6m/s、 γ 線：68nGy/h、n線：<0.001 μ Sv/h

3. 被害状況等（未確認情報を含む）

(1) 人的被害

【東北地方太平洋沖地震】（警察庁 12日 10:00）

都道府県名	死者	行方不明	負傷者
北海道			1

青森県		3	4.8
岩手県	93	134	
宮城県	83	42	167
福島県	82	530	167
山形県			5
秋田県			4
東京都	4		49
茨城県	8	3	367
栃木県	3		90
埼玉県			19
群馬県	1		18
千葉県	9	13	73
神奈川県	4		29
高知県			1
合計	287	725	1046

※宮城県仙台市で、200～300人の遺体が発見されている模様（警察官の視認）

※消防庁12日08:30情報では、死者164名、行方不明者258名、負傷者1087名

※南相馬市の県道391号～260号～274号沿いの約1,800世帯が壊滅状態(防衛省11日23:11)

【長野県北部を震源とする地震】（警察庁12日10:00）

長野県：負傷者7名

新潟県：負傷者6名

群馬県：負傷者1名

合計：負傷者14名

【海の被害】（海上保安庁12日06:00）

（第1管区）

- ・えりも漁港、1名漂流、自力救助、対応終了

（第2管区）

- ・三沢、転覆船あり
- ・八戸ポートアイランド付近イカ船2隻流される、乗員有無不明
- ・八戸小中野河口男性行方不明
- ・大船渡、転覆船1隻、人員不明
- ・気仙沼、大島瀬戸、3隻漂流、人員不明
- ・気仙沼タカハマ、家屋1名乗って漂流
- ・気仙沼北サイチ、家屋に乗って漂流
- ・気仙沼港内、漂流物から出火、港奥向け漂流中、海面火災は陸上へ
- ・石巻工業港で和船が流されている、3名乗船、漂流物のため接近不可

- ・石巻港内、「トリバン」座礁、81名救助（海保 08:53）
 - ・石巻港内、「サイダージョイ」座礁、31人名全員救助（海保 09:32）
 - ・石巻、中島埠頭貨物船乗り上げ
 - ・石巻、鮎川港「ハピネス」漂流、2名乗船
 - ・塩釜はしま沖、漁船、乗組員9名中4名行方不明
 - ・松島、巻き網漁船（8名乗船）、機関故障（対応終了）
 - ・宮城、「第三クニ丸」航行不能、4名行方不明
 - ・仙台港、校内で「ブロービスマーキュリー」乗り上げ
 - ・亶理荒浜漁港、津波のまれ漂流、人数不明
 - ・相馬、「きく丸」乗員漂流、人数不明、救助
 - ・相馬、「シラミス」座礁、22名乗船
 - ・福島中之作、1名ブイに掴まって流される
 - ・福島、広野火力発電で「第八崎陽丸」（重油2,500トン）無人漂流
 - ・福島沖、「第25きせ丸」漂流、2名乗船
 - ・小名浜、「コーラルリング」座礁、22名乗船（全員救助、対応終了）
 - ・小名浜、港内藤原埠頭1名漂流
 - ・港沖防波堤数名孤立、人数不明
- （第3管区）
- ・茨城銚田海水浴場、サーファー2名漂流、対応終了
 - ・鹿島港内、漂流船、隻数不明、乗船者の有無不明
 - ・鹿島港、10万トン貨物船「KATSURA」、自力航行不能、油流出なし、人命異常なし、17名救助済、10名在船（保船のため）
 - ・鹿島港、「こうしょう丸」行方不明者1名（LJ着用）
 - ・銚子波崎海水浴場、漁船転覆（1名乗り組み）、対応終了
 - ・銚子、「第一タイショウ丸」に1名取り残されている可能性、対応終了
 - ・銚子、「第三十三海運丸」乗上げ、乗組員救助済
 - ・銚子外川3隻転覆、無人、対応終了
 - ・横浜、「第38三協丸」沈没、3名救助（海保 08:31）
- （第5管区）
- ・和歌山、太地町係留船1隻転覆
 - ・徳島、浅川港内、①転覆船1隻、②1隻が他の1隻に乗り上げた状態で漂流中
 - ・高知須崎港内、漁船3隻沈没

(2) 火災発生件数（消防庁 12日 08:30）

- 青森県：4件（すべて鎮火）
- 岩手県：12件（うち3件鎮火）
- 秋田県：1件
- 宮城県：50件（うち9件鎮火）
- 福島県：14件（うち12件鎮火）
- 茨城県：29件（うち21件鎮火）
- 栃木県：5件

埼玉県：1件
 千葉県：4件（うち2件鎮火）
 東京都：32件（うち30件鎮火）
 神奈川県：2件（うち1件鎮火）
 静岡県：1件（3棟）

合計：154件（うち鎮火82件）

※石油コンビナート等火災等の状況（消防庁12日08:00）

- ・ J X日鉱日石エネルギー仙台製油所（宮城県仙台市及び多賀城市）：継続中
 - ・ コスモ石油（株）千葉製油所（千葉県市原市）：継続中
 - ・ J F Eスチール（株）東日本製鉄所千葉地区（千葉県千葉市）：火災ではなかった
 - ・ チッソ石油化学（株）五井製造所（千葉県市原市）：鎮火
 - ・ J F Eスチール（株）東日本製鉄所（京浜地区）、川崎地区（川崎市）：鎮火
 - ・ 新潟石油共同備蓄（株）新潟事業所（新潟県新発田市）：鎮火
- （以下は漏えい事故）
- ・ J X日鉱日石エネルギー（株）船橋油槽所（千葉県船橋市）のガソリン漏えい：措置完了済み
 - ・ 東京ガス（株）袖ヶ浦工場（千葉県袖ヶ浦市）のガス漏えい：復旧済み
 - ・ 東北電力（株）東新潟火力発電所（新潟県聖籠町）の燃料漏えい：火災や拡大の危険なし
 - ・ 古河電機工業（株）千葉事業所（千葉県市原市）の絶縁油流出：回収済み

(3) 建築物被害

(12日10:00警察庁)

	全壊	半壊	浸水	全焼	半焼	一部損壊	非住家
北海道			2				
宮城県	9	12			1	4	
福島県	2,400			76			
山形県	34	63					
秋田県				1		1	2
茨城県	58			8			
栃木県	6	5				595	82
埼玉県		7	1		1	784	33
群馬県						816	25
千葉県	9	3	21	3	3	90	32
高知県			2				
合計	2,516	90	26	88	5	2,290	174

(12日10:15消防庁) 全壊：1,231、半壊217、一部損壊3,517

(4) 交通遮断状況

◇鉄道の運転状況

- ・ J R 東日本管内の新幹線、首都圏、東北エリアについては、11日は運転しない。(J R 東日本 11日 19:37)
- ・ 仙台駅停車中の試運転2軸脱線(死傷者はなし)(国土交通省 11日 18:00)
- ・ 常磐線新地駅付近で乗員乗客約40名が車外に避難した後、津波により列車が横転。(警察庁 08:00)
- ・ 気仙沼線最知～松岩駅間列車脱線(死傷者はなし) 避難するよう指示した後、乗務員と連絡がとれない。(国土交通省 12日 04:30)
- ・ 仙石線野蒜～東名駅間列車が山側に流されて線路と離れてL字型に脱線(国土交通省 12日 04:30)
- ・ 大船渡線大船渡～下船渡間で1列車(2両編成)の乗務員と連絡がとれない。(国土交通省 12日 04:30)
- ・ 大船渡線盛駅付近(確認中)で1列車(2両編成)の乗務員と連絡がとれない。(国土交通省 12日 04:30)
- ・ JR 東日本: 東北新幹線、上越新幹線、北陸(長野)新幹線は運転見合わせ、運転再開の見込みたらず。東海道線、山手線、埼京線、南武線、武蔵野線、横浜線、京浜東北線、横須賀線、相模線、中央線、青梅線、五日市線、常磐線、川越線、高崎線、総武線、成田線は運転するが3～5割程度。その他の在来線は運転見合わせ。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ JR 東海: 東海道新幹線は12日始発から平常運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 東武鉄道: 東武東上線、越生線は運転するが5割程度の運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 西武鉄道: 12日始発からダイヤ通り、特急は運休。(西武園線、西武有楽町線を除く)(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 京成電鉄: 東成田線のみ運転見合わせ。その他は7～8割の運転(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 京王電鉄: 終夜運転を始発移行も継続。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 小田急電鉄: 12日は終列車の本数で運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 東京急行電鉄: 始発から通常どおり。(田園都市線、大井町線は7～10分間隔で全列車各停)(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 京浜急行電鉄: 12日始発から運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 相模鉄道: 12日始発から通常ダイヤで運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 東京メトロ: 12日は5～7割の運転。日比谷線、東西線、千代田線は一部運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 都営地下鉄: 12日一部運休あり。(日暮里・舎人線は見合わせ)(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 横浜市営地下鉄: 土日休ダイヤで運転。(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 新京成電鉄: 5割の運転(国土交通省 12日 07:00)
- ・ つくばエクスプレス: 運転見合わせ(国土交通省 12日 07:00)
- ・ 東京モノレール: 始発から運転(国土交通省 12日 07:00)

◇空港の状況 (国土交通省 12日 04:40)

- ・大館能代空港：航空機運航可。仙台空港からの保安業務提供不可。
- ・佐渡空港：航空機運航可。仙台空港からの保安業務提供不可。
- ・仙台空港：航空機運航不可。空港全体が冠水。11日15:06から閉鎖中。
- ・三沢空港：航空機運航可。11日18:50から運用再開。
- ・花巻空港：11日16:05から運用再開。官邸からの要請により緊急輸送拠点空港とする。
- ・福島空港：航空機運航可。管制塔のガラス全壊。運用可能。
- ・茨城空港：航空機運航可。ターミナルの天井落下。空港は運用中。
- ・山形空港：航空機運航不可。停電によりターミナルビル使用不可。11日15:15から閉鎖中。
- ・羽田空港：航空機運航可。12日03:37～羽田行きの飛行停止を解除(通常運用再開)。
- ・成田空港：航空機出発可。12日06:00～通常運用再開。
- ・奄美・喜界空港：航空機運航不可。11日17:42から滑走路閉鎖。
- ・徳之島空港：航空機運航不可。12日01:13～空港閉鎖
- ・新潟空港：確認中

◇道路被災状況

- ・自動車道(通称仙人道路)釜石～遠野で橋が落ちている情報あり。現在確認中。(警察庁 11日15:00)
- ・釜石線(岩手県)線路上の石崩落(警察庁 11日15:10)
- ・東北道(下り5.1kp)で亀裂2cm。常磐道(上り81.4kp)橋桁20～30cmのずれ(警察庁 11日15:23)
- ・東北道那須で路面の陥没と隆起が各所で発生(警察庁 11日15:20)
- ・東北道(白河～西那須)陥没、通行不可。常磐道(岩間～反部)隆起・陥没、通行不可。常磐道(北茨城～高萩)橋桁ずれ、通行不可。(警察庁 11日15:55)
- ・圏央道(つくば牛久)で路面ひび割れ(警察庁 11日15:35)
- ・京葉道(上り、幕張～花輪)50mにわたって路面に亀裂(警察庁 11日15:35)
- ・東北道(川口JCT～浦和TB)10cm程度のひび割れ(警察庁 11日15:35)
- ・常磐道(上り、友部JCT～水戸IC)橋桁20～30cmのずれ(警察庁 11日15:35)
- ・常磐道(美野里IC～岩間IC)陥没隆起。通行不可(警察庁 11日16:30)
- ・福島県国道6号線100mにわたって陥没。通行止め(警察庁 11日16:20)
- ・首都高湾岸線(湾岸市川～習志野)橋桁が液状化(警察庁 11日16:34)
- ・茨城県那珂市、道路複数陥没。鹿行広域、鹿行大橋倒壊(消防庁 11日18:00)
- ・宮城県大里町、橋が浮いている(警察庁 11日15:25)

◇道路規制状況

- ・通行止め(国土交通省 12日05:30)
 - ・青森道、百石道、東北道、八戸道、秋田道、琴丘能代道路、秋田環状道路、日本海東北道(河辺～岩城)、湯沢横手道、山形道、東北中央道、仙台北部道路、仙台東部道路、三陸道、磐越道(津川～いわき)、常磐道、北関東道、圏央道、東京外環道、上信越道、東関東道、新空港道、館山道、東京湾アクアライン、京葉道路、千葉東金道路、富津館山道路、横浜横須賀道路、中央道(高井戸～上野原)、東名

高速道路（富士～清水）、西湘バイパス、阪和道（和歌山～南紀田辺（下））、首都高速道路（都心環状線、八重洲線、1号上野線、1号羽田線、2号目黒線、3号渋谷線、4号新宿線、5号池袋線、埼玉大宮線、埼玉新都心線、中央環状線（西）、6号向島線、6号三郷線、7号小松川線、9号深川線、10号晴海線、11号台場線、湾岸線（東京）、中央環状（東）、川口線、1号横羽線、2号三ツ沢線、3号狩場線、5号大黒線、6号川崎線、湾岸線（神奈川））、みちのく有料道路、第二みちのく有料道路、仙台南部道路、仙台松島道路、西藏王有料道路、福島空港道路、三浦縦貫有料道路、真鶴道路、富士山有料道路、日光宇都宮道路、一ツ葉有料道路。

（5）首都圏の帰宅困難者の状況

- ・羽田空港 第1・第2ターミナルに10,300人、国際線ターミナルに4,300人が帰宅等が不可能な状態。（国土交通省 12日02:04）
- ・成田空港 第1ターミナルに5,270人、第2ターミナルに3,200人が帰宅等が不可能な状態。
- ・新宿駅 西口約5,000人、地下街約3,000人、南口約1,500人 計約9,500人滞留（警察庁 11日21:05）→通常（警察庁 11日22:00）
- ・池袋駅 約3,000人滞留（警察庁 11日21:00）→通常（警察庁 11日22:00）
- ・大宮駅 約2,000人滞留（警察庁 11日21:00）→通常（警察庁 11日22:00）
- ・横浜駅周辺半径200メートルの範囲に約60,000人が滞留するもパシフィコ横浜及び横浜アリーナを避難場所として解放した結果、当該避難場所に移動しつつある状況。混乱等はない。（警察庁 11日21:15）→通常（警察庁 12日3:48）

（首都圏の帰宅困難者対策）

ア 運行再開された鉄道路線の代替輸送で対応

相模鉄道のみ運行再開可能（待機中）

東京地下鉄は丸ノ内線、銀座線、南北線は運行再開可能であるが、その先の輸送ルートが確保できないため、待機中

イ 代替輸送となる鉄道路線がない場合

- ① 鉄道局から鉄道会社に対し、バスによる代行輸送を鉄道事業者から系列のバス会社に依頼するよう指示。
- ② 自動車交通局より以下をバス会社に指示。
 - ・ 各乗合バス事業者による増便や運行時間の延長を可能な限り実施。
 - ・ 道路の迂回も可とする。
 - ・ 必要な許認可等は事後的に実施することで可とする。
 - ・ 貸切バスの投入も可とする。
 - ・ 各バス事業者において増便や運行時間の延長を行う場合、国から随時公表する方向。
- ③ タクシーの活用
 - ・ 自動車交通局より、無線等を活用し、タクシーが不足している駅構内等にタクシーを入れるよう協会・支部に依頼。
- ④ 東京都より帰宅困難者を一時収容する施設の設置について報道発表済み（11日22:10に第3報）

- ⑤ 内閣府ホームページに一時収容施設として解放する国の施設を掲載 (11日22:50)

(6) ライフライン等の状況

◇原子力発電所の稼働状況等

- ・福島第一発電所で原災法10条通報 (原子力保安院 11日15:42)
- ・福島第二発電所で原災法10条通報 (原子力保安院 11日17:35)
- ・福島第一発電所で原災法15条該当事象の通報 (原子力保安院 11日16:45)
- ・原発周辺のモニタリングポストの値に異常なし。(原子力保安院 11日15:12)
- ・青森、茨城の原発は外観異常なし (警察庁 11日15:15)
- ・福島第一原子力発電所で津波によりオイルタンクが流された。(警察庁 11日15:45)
- ・女川発電所タービンビル地下で火災発生。石巻消防出動不可のため自衛消防にて対応中 (消防庁 11日17:38) ←12日00:13消火完了 (防衛省)
- ・福島第2原発の施設周辺が崩れているのを視認。(防衛省 11日17:38)
- ・東海第2発電所のプール水HI/L0警報が発報しており、水張りを開始。(消防庁 11日18:56)
- ・稼働状況 (原子力保安院 11日14:46)
 - 女川原子力発電所：1、2、3号機運転停止
 - 福島第一発電所：1、2、3号機は運転停止。4、5、6号機は定検停止中。
 - 福島第二発電所：1、2、3、4号機は運転停止。
 - 東通り発電所：定検停止中。
 - 六ヶ所再処理施設：非常用ディーゼル発電で電力供給中。
 - 東海第2発電所：運転停止。
 - 浜岡発電所：4、5号機は運転中。3号機は定検停止中。
 - 柏崎刈羽発電所：1、5、6、7号機は運転中。2、3、4号機は定検停止中。
 - 泊発電所：1、2、3号機は運転中。
- ・緊急事態宣言 (11日19:03) (経済産業省)

稼働状況 (原子力保安院 11日14:46)

◇停電の状況 (経済産業省 12日00:50)

- ・東京電力：284万戸
- ・東北電力：440万戸 (推計) (新潟県では停電なし。)
- ・北海道電力：560戸
- ・中部電力：1戸 (東京電力から供給を受けている需要家)

◇ガス供給停止の状況 (経済産業省 12日00:50)

一般ガス

- ・東京ガス：日立支社エリア (30,008戸)、常総支社東部地区 (1,041戸)
- ・仙台市営ガス局：全面 (36万戸)
- ・塩釜ガス：1万2千戸
- ・釜石ガス：1万戸
- ・秦野ガス：100戸
- ・京葉ガス：八千代市内

- ・福島ガス：2,726戸
- ・東北ガス：300戸
- ・常磐共同ガス：1万5千戸（いわき市全戸）
- ・東部ガス：7,500戸
- ・東彩ガス：導管ガス漏えいマンションの150世帯

簡易ガス

- ・東京ガスエネルギー（北茨城）：中郷ニュータウン943戸
- ・首都圏ガス（佐倉市）：1,320戸

◇水道施設関係（厚生労働省 12日07:30）

北海道	排水本管の破損による断水：夕張市
宮城県	用水供給停止：仙南・仙塩広域水道用水供給事業、大崎広域水道事務所 全戸断水：柴田町、山元町、角田市、岩沼市、村田町、栗原町、利府町、 色麻町 一部断水：丸森町、白石市
青森県	停電。水道管破裂。
山形県	取水停止による断水：山形市 断水：長井市 一部断水：遊佐町
岩手県	断水：二戸市、久慈市、盛岡市、滝沢村、北上市、
秋田県	断水：秋田市
福島県	浄水場内で管路破断：福島地方水道用水供給事業
茨城県	送水停止（8浄水場） 全域断水：水戸市、土浦市、石岡市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、 潮来市、常陸大宮市、那珂市、稲敷市、桜川市、神栖市、行 方市、鉾田市、大子町、阿見町、河内町、五霞町、利根町、 湖北水道企業団、高萩市、鹿嶋市、茨城町、大洗町、白里町、 東海村、三浦町 一部断水：結城市、下妻市、常総市、つくば市、境町、日立市、築西市、 坂東市、かすみがうら市、小美玉市、県南水道事業団
栃木県	排水池損傷による断水：那須塩原市 断水：那須町、真岡市、大田原市、矢板市、那珂川町、市貝町、芳賀町、 高根沢町 停電による断水：足利市
群馬県	断水：下仁田町、富岡市、南牧村、板倉町 停電による断水：前橋市 排水本管漏水による断水：渋川市
埼玉県	漏水多数、行田浄水場取水停止→再開：埼玉県用水供給事業 停電による断水→全戸復旧：鴻巣市 断水→全戸復旧：杉戸町、秩父市、ときがわ町、

	断水：小川町、久喜市
千葉県	断水：佐倉市
東京都	断水：町田市、稲城市
神奈川県	断水：神奈川県企業庁、三浦市、小田原市
静岡県	停電による断水：県内各市
長野県	水道管破裂による断水：高森町、諏訪市、富岡町、岡谷市
岐阜県	導水管破損：飛騨市
愛知県	断水：名古屋市
山梨県	停電による断水：富士吉田市
その他	漏水ありとの情報があるが、詳細確認中（三重県、滋賀県） 房総導水路、霞ヶ浦用水において取水停止。東総用水送水管破裂により 送水不可（水資源機構）

◇通信関係（総務省 12日 05:30）

- ・NTT 東：加入電話約 142, 000 回線、ISDN 約 11, 000 回線、フレッツ光回線約 287, 000 回線に障害が発生。通信規制実施（発信最大約 50%、着信最大約 70%）。災害用伝言ダイヤル運用中（岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県）。災害用ブロードバンド伝言板運用中。公衆電話無料化（新潟県、長野県、山梨県、神奈川県以东の 17 都県）
- ・NTT 西：被害なし。通信規制なし。災害用ブロードバンド伝言板運用中。
- ・NTT コミュニケーションズ：中継回線断（仙台）。専用線約 560 回線が利用不可。北茨城からアジア向けの海底ケーブルが断。通信規制実施（発信）
- ・KDDI：約 20 万回線が利用不可。東北、関東間の陸上ケーブル、海底ケーブルが断、東北以北と関東以西の間での KDDI 同士の全通信不可。通信規制実施（発信）。
- ・ソフトバンクテレコム：アナログ電話及び ISDN4, 800 回線、専用線 2, 000 回線が利用不可。通信規制（岩手県、宮城県、東京都）
- ・NTT ドコモ：基地局約 3, 070 局が停波中。通信規制（東北全域、関東全域）。災害用伝言板運用中。
- ・KDDI (au)：基地局約 2, 000 局が停波中。東北、関東間の陸上ケーブル、海底ケーブル断、東北以北と関東以西の間での KDDI 同士の全通信不可。通信規制（東北）。災害用伝言板運用中。
- ・ソフトバンクモバイル：基地局約 2, 513 局が停波中。通信規制（東北地方、関東地方）。災害用伝言板運用中。
- ・イー・モバイル：基地局約 402 局が停波中。通信規制なし。災害用伝言板運用中。

◇放送関係（総務省 12日 03:00）

- ・北海道根室花咲局（アナログ全波、デジタル（民放））が停電により停波。←11日 23:29 に復旧。
- ・停電による停波
 - 岩手県 ラジオ中継局 1 か所、テレビジョン中継局（デジタル、アナログ） 1 か所
 - 宮城県 テレビジョン中継局（デジタル、アナログ） 2 か所

- 福島県のテレビジョン中継局（デジタル、アナログ）1か所
- 栃木県のテレビジョン中継局（デジタル）2か所
- 埼玉県のテレビジョン中継局3か所
- 神奈川県テレビジョン中継局（アナログ）4か所

(7) その他

◇土砂崩れ

- ・福島県内で土砂崩落発生（警察庁 11日 15:30）
- ・岩手県の石切場で土砂崩れ発生（消防庁 11日 15:31）
- ・福島県相馬市海岸線で土砂崩れ多数（警察庁 11日 15:25）
- ・福島県の国道四号（福島市伏拝）土砂崩れ発生（警察庁 11日 15:40）
- ・十日町松之山中尾で土砂崩れあり。住宅が流された。近所の住人が110番、探している。県警、機動隊13名を向けている。←全員無事を確認（警察庁 12日 06:12）
- ・長野県北部を震源とする地震により新潟県で山崖崩れ3件（警察庁 12日 09:00）

◇航空自衛隊松島基地の航空機が水没（防衛省 11日 17:01）

- ◇東北地方を中心とした地域で発生する地震については、緊急地震速報（予報・警報）を適切に発表できない状態（気象庁 11日 20:00）

4. 各省庁の活動状況

(1) 各省庁の供給体制

・水（厚生労働省）

被災地にむかっているタンク車台数及び今後向かうことが可能なタンク車台数の情報を確保

・食糧（農林水産省）

各種食糧（米、弁当、水等）の供給元情報を確保（追加情報）

・燃料系（ジェット燃料、灯油、A重油、ガソリン、軽油）の供給元情報（適宜追加されている）（経済産業省）

・毛布、ラジオ、懐中電灯（電池あり）、懐中電灯（電池なし）、発電機、ドライアイス、棺桶、カイロ、ろうそくの供給元情報（適宜追加されている）（経済産業省）

・トイレ（経済産業省）

ニッケンのレンタル（全国（196営業所））から5,000基供給可能との連絡あり、供出可能時間を確認中

・毛布

大阪の業界団体から25,000枚供給可能との連絡あり、12日午後5時までに供給可能

(2) 各省庁の活動状況

(警察庁)

3月11日

- ・15:07 北海道警察広域緊急援助隊に待機指示。

- ・ 15 : 07 中部・近畿・中国の広域緊急援助隊に出動指示。
- ・ 15 : 31 北海道警1機、岩手県警1機、宮城県警2機、福島県警1機、警視庁1機が被害調査のためヘリ出動中。
- ・ 15 : 13 近畿管区広域緊急援助隊（交通部隊）に出動指示。
→ 15 : 40 岩手県に向かうよう指示。
- ・ 15 : 14 中部管区広域緊急援助隊（交通部隊）に出動指示。
→ 15 : 40 宮城県に向かうよう指示。
- ・ 15 : 15 中国管区広域緊急援助隊（交通部隊）に出動指示。
→ 15 : 40 福島県に向かうよう指示。
- ・ 16 : 10 千葉県警察広域緊急援助隊に出動指示。
→ 17 : 00 福島県に向かうよう指示。
- ・ 16 : 25 警視庁広域緊急援助隊に出動指示。
→ 17 : 00 宮城県に向かうよう指示。
- ・ 16 : 45 長野・新潟・山梨・秋田・山形の各県警察広域緊急援助隊に出動指示。
→ 17 : 00 長野県警察→岩手県に向かうよう指示。
→ 17 : 00 新潟県警察→福島県に向かうよう指示。
→ 17 : 00 山梨県警察→岩手県に向かうよう指示。
→ 17 : 00 秋田県警察→岩手県に向かうよう指示。
→ 17 : 00 山形県警察→岩手県に向かうよう指示。
- ・ 17 : 30 ヘリの応援派遣予定。
愛知県警察ヘリ×1機 → 宮城県。
北海道警察ヘリ×1機 → 岩手県。
- ・ 21 : 30 3月12日のヘリテレ運用予定
青森県警6 : 00～、岩手県警6 : 00～、宮城県警5 : 00～、秋田県警6 : 00～、山形県警6 : 00～、福島県警5 : 40～、千葉県警9 : 00～、神奈川県警6 : 00～、静岡県警は待機中。
- ・ 22 : 20 北海道、警視庁、山形・埼玉・千葉・秋田の各県警察の広域緊急援助隊（刑事部隊）に出動指示。
- ・ 23 : 41 警視庁（増強）、新潟、長野、静岡、群馬の各県警察の広域緊急援助隊（刑事部隊）に出動指示。

3月12日

・派遣及び活動ヘリの状況

青森県～青森県警ヘリ（1機）

岩手県～岩手県警ヘリ（1機）、北海道警ヘリ（1機）、警視庁ヘリ（1機）

宮城県～宮城県警ヘリ（2機）、秋田県警ヘリ（1機）、愛知県警ヘリ、（2機）警視庁ヘリ（1機）

山形県～山形県警ヘリ（1機）

福島県～福島県警ヘリ（1機）、神奈川県警ヘリ（1機）、警視庁ヘリ（1機）、大阪府警ヘリ（1機）、埼玉県警ヘリ（1機）

千葉県～千葉県警ヘリ（1機）

神奈川県～神奈川県警ヘリ（1機）

新潟県～新潟県警ヘリ (2機)

長野県～長野県警ヘリ (1機)

和歌山県～和歌山県警ヘリ (1機)

・ 9 : 0 0 宮城県警察で行方不明者相談ダイヤルの開設 (022-221-2000)

(消防庁)

3月11日

・ 15 : 0 0 宮城県庁に2名派遣。

・ 15 : 0 3 北海道、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県、富山県、山梨県の航空部隊に出動準備の指示。

・ 15 : 4 0 緊急消防援助隊に対して出動指示。

・ 23 : 5 2 3月12日のヘリの運行予定
緊援隊として33機、県機として7機

緊急消防援助隊の派遣状況 (3月12日05 : 00現在)

岩手県

- ・ 埼玉県 (44隊)、山形県 (28隊)、秋田県 (29隊)、名古屋市 (1隊)、横浜市 (1隊)、栃木県 (26隊)、石川県 (27隊)、福井県 (20隊)
- ・ ヘリ応援～横浜市 (1機)、名古屋市 (1機)

宮城県

- ・ 札幌市 (1隊)、東京消防 (1隊)、新潟市 (2隊)、東京都第1陣 (12隊)、長野県 (34隊)、新潟県 (27隊)、富山県 (17隊)、東京都第2陣 (25隊)、東京都第3陣 (60隊)、神奈川県 (53隊)、山梨県 (24隊)、愛知県第1陣 (19隊)、愛知県第2陣 (35隊)
- ・ ヘリ応援～札幌市 (1機)、長野県 (1機)、山梨県 (1機)、東京消防 (1機)

福島県

- ・ 千葉市 (1隊)、群馬県第1陣 (22隊)、静岡県 (37隊)、さいたま市 (1隊)、群馬県第2陣 (16隊)、岐阜県 (25隊) 滋賀県 (36隊) 群馬県第3陣 (7隊)
- ・ ヘリ応援～群馬県 (1機)、千葉市 (1機)、岐阜県 (1機)

千葉県

- ・ 川崎市 (1隊)、東京都 (8隊)、三重県 (31隊)、神奈川県 (3隊)
- ・ 船艇～神奈川県 (1艇)、東京都 (1艇)

新潟県

- ・ 東京消防庁 (1隊)、石川県 (27隊)、福井県 (20隊)
- ・ ヘリ応援～東京消防庁 (1機)

長野県

- ・ 神戸市 (1隊)、兵庫県 (63隊)、奈良県 (25隊)

(国土交通省)

3月11日

・ 15 : 2 8 東北地方整備局防災ヘリ離陸、宮城県沿岸を調査開始。

・ 15 : 0 5 中部地方整備局防災ヘリ離陸を指示、東京方面へ飛行予定。

・ 15 : 3 0 関東地方整備局防災ヘリ離陸予定。23区内を調査予定。

・ 15 : 3 0 東京方面へ離陸、福島沿岸を調査開始。

- ・ 15 : 00 宮城県庁 (4名)、岩手県庁 (2名)、福島県庁 (2名) にリエゾン派遣。
- ・ 政府調査団の一員として、宮城県に大臣政務官等を派遣

3月12日

- ・ 07 : 00 国土地理院が災害現場航空写真撮影。
- ・ 避難指示の出されている福島第一原子力発電所 (福島県双葉郡大熊町) の周辺地図を官邸に提供。
- ・ 12日早朝から、テックフォース先遣隊がヘリコプターにて東北地方の広域被害調査を実施予定。
- ・ 東北地方から茨城県にかけての海岸部周辺の地図を道路局に提供
- ・ 電子基準点の解析結果から、最大水平方向約4m、鉛直方向で約70cmの地殻変動を検出 (暫定値)

(気象庁)

- ・ 16 : 02 記者会見

(海上保安庁)

3月11日

- ・ 15 : 01 ~ 15 : 44 にかけて地震・津波に関する日本航行警報、NAVTEX警報済み
- ・ 21 : 16 ~ 21 : 47 にかけて原子力緊急事態・退避命令区域に関するNAVTEX警報済み
- ・ 101港で船舶への避難勧告、121港で警戒勧告を実施
- ・ 緊急災害対策本部の設置受け、1514日本海溝型地震動員計画を発動
- ・ 福島第一原発に係る避難命令 (3km)、屋内退避命令 (3~10km) 圏内海域における通航船舶等の調査及び指導のため巡視船が対応中、航空機についても発動指示済み。

3月12日

- ・ 03 : 06 福島第一原子力発電所から放射性物質の放出の可能性有りに関するNAVTEX航行警報済み
- ・ 04 : 15 新潟県上越・中越地震に関するNAVTEX航行警報済み

対応勢力 (3月12日06 : 00現在)

巡視船艇335隻、航空機43機、特殊救難隊9名、機動救難士13名、機動防除隊2名

(防衛省)

3月11日

- ・ 14 : 52 岩手県知事より災害派遣要請。
- ・ 15 : 01 東北方面航空隊UH-1X1機 (ヘリ映伝) が離陸。
- ・ 15 : 02 宮城県知事から東北方面総監に対し、災害対策派遣要請。
- ・ 15 : 05 空自三沢基地F-15X2機が離陸。
- ・ 15 : 05 空自小松基地F-15X2機が離陸。
- ・ 15 : 20 海自第4航空隊のP-3CX1機が離陸。
- ・ 15 : 26 陸自第21普通科連隊の連絡要員を秋田県庁へ派遣
- ・ 15 : 30 海自第51航空隊のUP-3DX1機が離陸。
- ・ 15 : 30 海自第21航空隊 (大湊) のUH-60X1機が離陸。

- ・ 15 : 30 海自第21航空隊 (大湊) のSH-60J×1機が離陸。
 - ・ 15 : 30 海自第21航空隊 (館山) のUH-60J×1機が離陸。
 - ・ 15 : 30 海自第21航空隊 (館山) のSH-60K×1機が離陸。
 - ・ 15 : 30 海自第31航空群 (岩国) のEP-3×1機が離陸。
 - ・ 15 : 23 東北方面総監部から福島県庁へ連絡要員を派遣。
 - ・ 15 : 30 陸自第二施設団から宮城県庁へ連絡要員を派遣。
 - ・ 16 : 03 陸自第6師団の連絡要員を宮城県庁へ派遣。
 - ・ 16 : 47 福島県知事から第44普通科連隊 (福島) へ災害派遣要請
 - ・ 16 : 54 青森県知事より災害派遣要請
 - ・ 18 : 00 大規模災害対処派遣命令
 - ・ 18 : 50 北海道知事より災害派遣要請
 - ・ 19 : 30 原子力災害対処派遣命令
- 3月12日
- ・ 01 : 00 千葉県知事より災害派遣要請

(厚生労働省)

3月11日

- ・ 15 : 04 全DMATに待機要請
- ・ 15 : 45 宮城県よりDMATの派遣要請があり派遣を指示
- ・ 16 : 00 対応可能DMAT146チーム、検討中116チーム
- ・ 16 : 05 福島県へDMAT派遣を指示。
- ・ 17 : 30 茨城県からDMATの派遣要請。
- ・ 17 : 35 茨城県へDMAT派遣を指示。
- ・ 17 : 41 岩手県からDMAT派遣要請、同時刻に岩手県への派遣指示。
- ・ 20 : 00 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適用について
適用市町村(法適用日3月11日)
岩手県(宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町)
宮城県全35市町村
東京都46区市町
- ・ 23 : 30 被災地に向かっている給水タンク車台数及び今後向かうことが可能な給水タンク車台数の情報を午前0時を目途に整備中。

DMATの活動状況(3月12日5:00現在)

活動中 52チーム

福島県立医大病院 12チーム

仙台医療センター 6チーム

岩手医科大病院 5チーム

筑波メディカルセンター病院 17チーム

その他 12チーム

移動中 150チーム

対応可能 131チーム

検討中 52チーム

(農林水産省)

3月11日

- ・政府調査団に職員（5名）を派遣
- ・被災農林漁業者に対する資金等の円滑な融通・既貸付金の償還猶予等について、関係金融機関に依頼（3月11日）
- ・被災地における食糧の供給・確保について、関係団体に依頼（3月11日）
- ・22:00 消防庁、外務省危機管理室及び警察庁に対し、動物衛生課より「災害救助犬の受け入れ手続きに関する連絡先について」を持ち込みにより手交。
- ・23:30 各種食糧（米・弁当・水等）の供給元情報を整理中。

(金融庁)

3月11日

- ・平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置について、金融機関、証券会社、生命保険会社、損害保険会社、少額短期保険会社、火災共済協同組合に対して、可能な限りの便宜措置等を依頼する通知を发出（3月11日）

(経済産業省)

3月12日

- ・01:15 移動式トイレについてニッゲンのレンタルから5,000基供給可能との連絡があり、搬出可能時間を確認中。
- ・01:15 毛布について大阪の業界団体から25,000枚供給可能との連絡があり、3月12日17:00までに供給可能
- ・03:15 燃料（ジェット、灯油、A重油、ガソリン、軽油）、毛布、ラジオ、懐中電灯、発電機、ドライアイス、棺桶、カイロ、ろうそく等について供給元情報を適宜追加

(文部科学省)

3月11日

- ・18:00 政府調査団（宮城県）に職員3名を派遣
- ・21:00 地震調査研究推進本部地震委員会（臨時会）を開催予定

3月12日

- ・政府調査団（岩手県）に職員1名を派遣予定

(総務省)

3月11日

- ・日本放送協会に対し、「被災地では停電が続くなどしており、ラジオによる情報伝達が重要になっている。地域住民が必要とする情報をしっかりと伝えるよう、NHKとして取り組んでもらいたい。」旨、口頭要請。
- ・日本民間放送連盟に対し、「東北地方の放送による災害情報の伝達について、当該地区の会員各社に対し、被災地の停電等の状況も踏まえ、特にラジオによる放送継続と災害情報の伝達に最大限の努力を払って頂くよう、民放連としても要請頂きたい。なお、総務省からも同様の内容で、東北地区のラジオ各社あて、口頭伝達する。」旨、口頭要請。
- ・東北のラジオ各社（青森放送、エフエム青森、アイビーシー岩手放送、エフエム岩手、東北放送、エフエム仙台、秋田放送、エフエム秋田、山形放送、エフエム山形、ラジオ

福島及びエフエム福島)それぞれに対し、「被災地では停電等が続くなどしており、ラジオによる情報伝達が重要になってる。地域住民が必要とする情報をしっかり伝えるよう、災害情報の伝達に最大限の努力を払って頂きたい。」旨、口頭要請

(環境省)

3月12日

- ・ 政府調査団 (岩手県) に廃棄物・リサイクル対策部職員を派遣
- ・ 政府調査団 (福島県) に廃棄物・リサイクル対策部職員を派遣

5. 海外支援の受け入れ状況

3月12日

- ・ 防衛省を通じて在日米軍に支援を要請済み。具体的な要請内容は、①宮城県及び福島県の被災地における救助活動並びに②消防ヘリの空母「ロナルド・レーガン」への着艦及び給油。あわせて、警察庁からもヘリの着艦及び給油について要請があり、防衛省を通じて調整中。
- ・ 空母「ロナルド・レーガン」は現地へ向けて航行中。宮城県沖に投錨するよう要請済み。
- ・ 50を超える国、地域から救援の申し入れ。

(平成 23 年 3 月 12 日 10 時 00 分更新)

北日本から東日本の太平洋側の気象の実況・今後 1 週間の見通し

北日本から東日本の太平洋側は、12日は高気圧に覆われて次第に晴れ、13日も概ね晴れる。

14日から18日にかけては雲が広がりやすく、関東地方では14日に雨の降るところがあり、東北地方の太平洋側では15日から16日にかけて雨や雪の降るところがある見込み。

最高・最低気温ともに、東北地方の太平洋側では14日にかけて、関東地方では15日にかけて、平年並か平年より高く、その後は平年並か平年より低い見込み。

福島県浜通りの気象の実況・今後 1 週間の見通し

福島県浜通りは12日及び13日は概ね晴れる。14日から18日にかけては雲が広がりやすく、16日は雪や雨の降るところがある見込み。

最高・最低気温ともに、14日にかけて平年並か平年より高く、その後は平年並か平年より低くなる。16日から18日にかけて福島の最低気温は平年より低い氷点下1℃から2℃となる見込み。

福島県浜通りの風の実況・予想

福島県浜通りの風は、12日には3～5m/sの南の風、13日も弱い南の風となる見込み。

長野県北部付近の気象の実況・今後 1 週間の見通し

長野県北部付近は12日及び13日は概ね晴れる。14日から18日にかけては雲が広がりやすく、雨や雪の降るところがある見込み。

最高・最低気温ともに、14日にかけて平年並か平年より高く、その後は平年並か平年より低くなる。16日から18日にかけて長野の最低気温は氷点下3℃から4℃となる見込み。

平成23年3月12日10時30分
気 象 庁

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について

地震の概要と津波警報等の発表状況

発 生 日 時 : 3月11日14時46分

マグニチュード : 8.8 (暫定値)

場所および深さ : 三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約24km(暫定値)

発震機構等 : 西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(CMT解)

震 度 : 【最大震度7】宮城県栗原市(クリハラシ)で震度7、宮城県の涌谷町(ワクヤチョウ)、登米市(トメシ)、大崎市(オオサキシ)、名取市(ナトリシ)など、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から九州地方にかけて震度6弱~1を観測しました。

津波警報(大津波) : 北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、和歌山県、徳島県、高知県(12日03時20分現在)

津波警報(津波) : 北海道日本海沿岸南部、陸奥湾、東京湾内湾、愛知県外海、伊勢・三河湾、三重県南部、淡路島南部、愛媛県宇和海沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方、有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸(12日03時20分現在)

津波注意報 : オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、広島県、香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、山口県瀬戸内海沿岸、福岡県瀬戸内海沿岸、北海道日本海沿岸北部、福岡県日本海沿岸、佐賀県北部、壱岐・対馬、石川県加賀、福井県、京都府、兵庫県北部、鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸(12日03時20分現在)

○ 津波の観測状況

12日03時25分現在、北海道から沖縄にかけての太平洋沿岸で高い津波を観測しているほか、日本海沿岸、オホーツク海沿岸、東シナ海沿岸の一部でも津波を観測しています。

○ 余震活動の状況

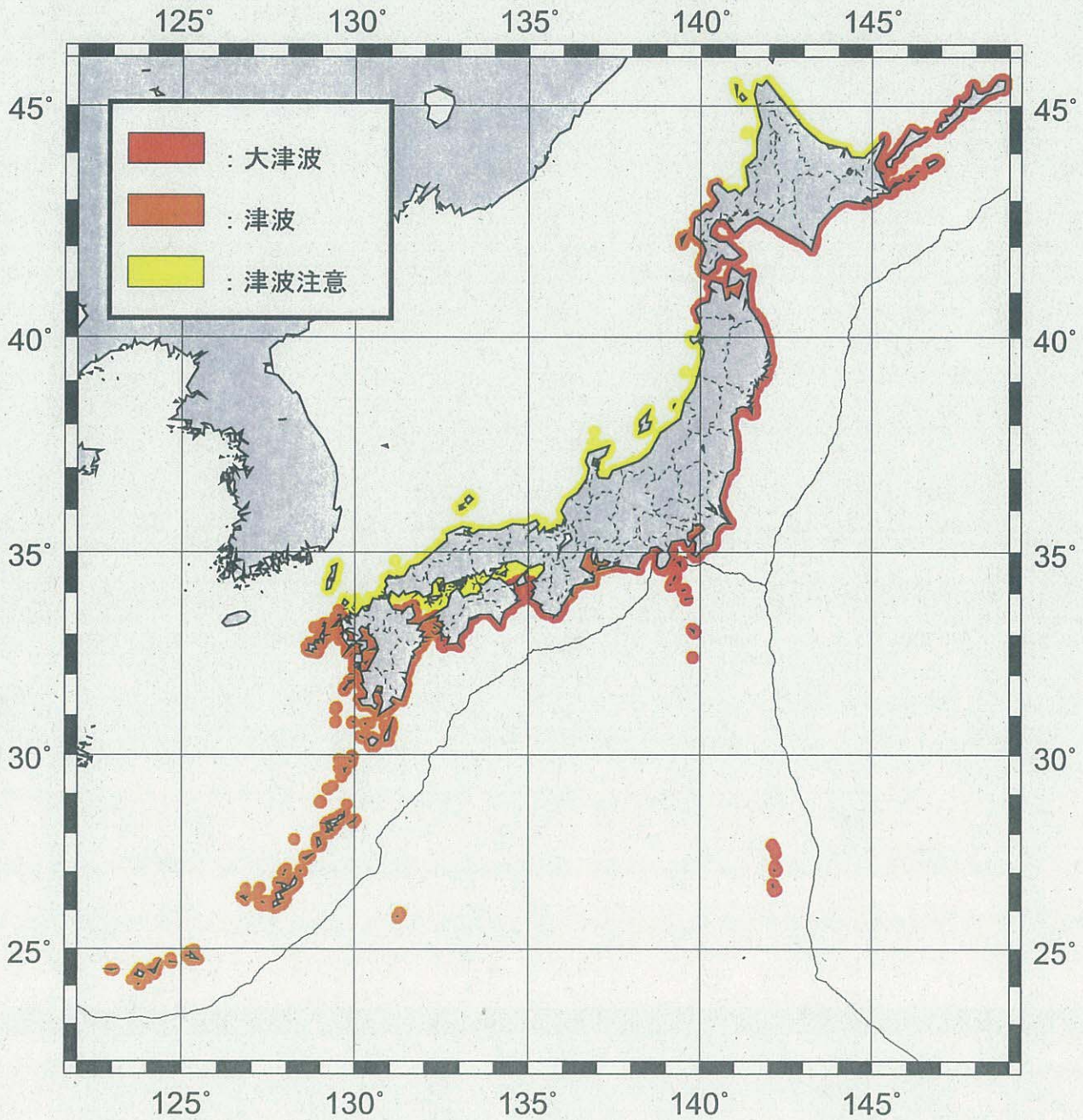
強い揺れを伴う多数の余震が観測されています。しばらくはこのような余震活動が続くと考えられます。

○ 防災上の留意事項

大変高い津波が観測されています。津波警報を発表している沿岸では、厳重に警戒してください。また、津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで警戒を続けてください。津波注意報を発表している沿岸についても、十分注意してください。非常に強い揺れが広い範囲で観測され、家屋の倒壊などの被害が出ています。また、揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険がありますので、余震による強い揺れに引き続き警戒してください。

津波警報・注意報の発表状況

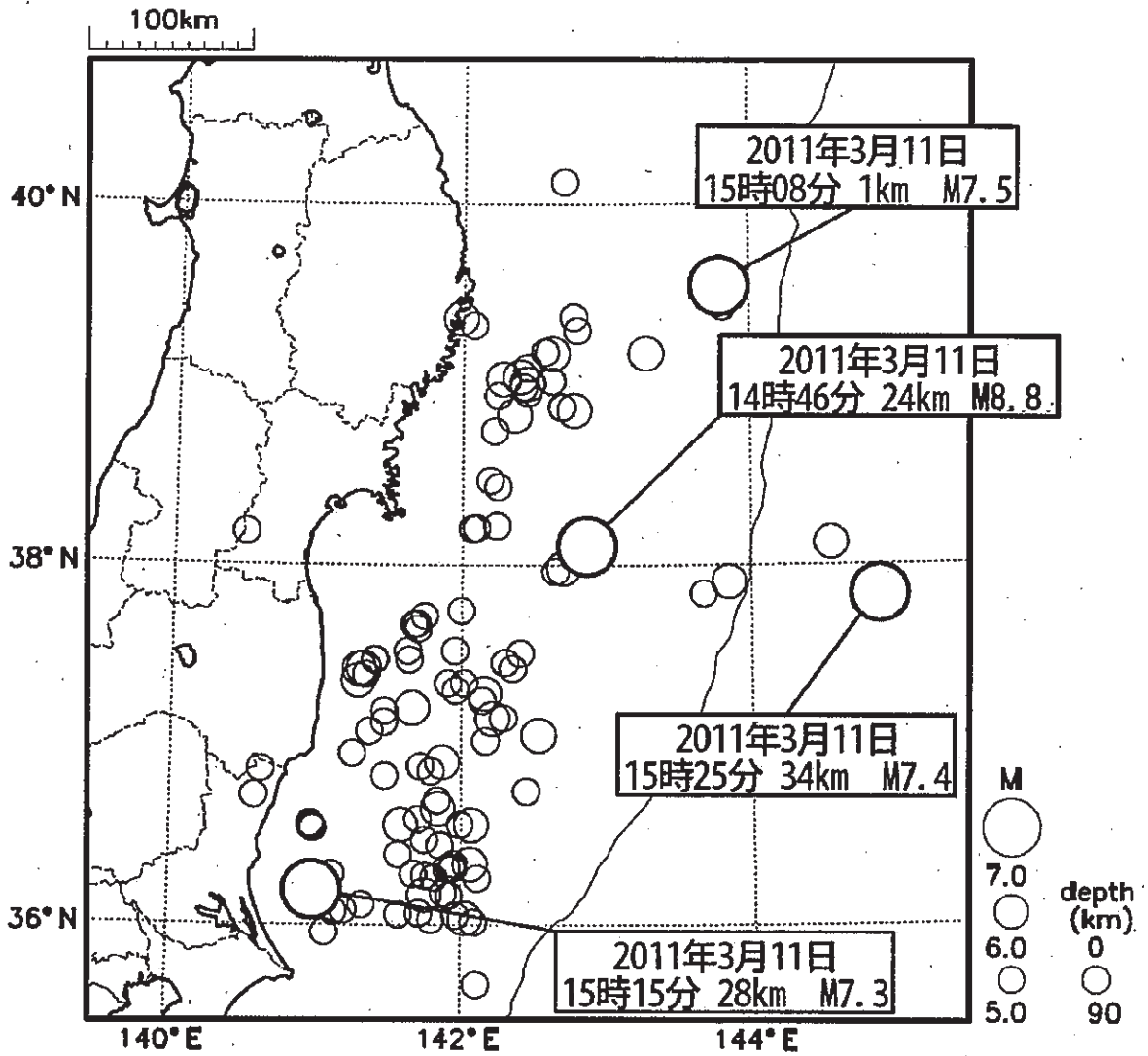
03月12日03時20分発表



余震の発生状況

震央分布図

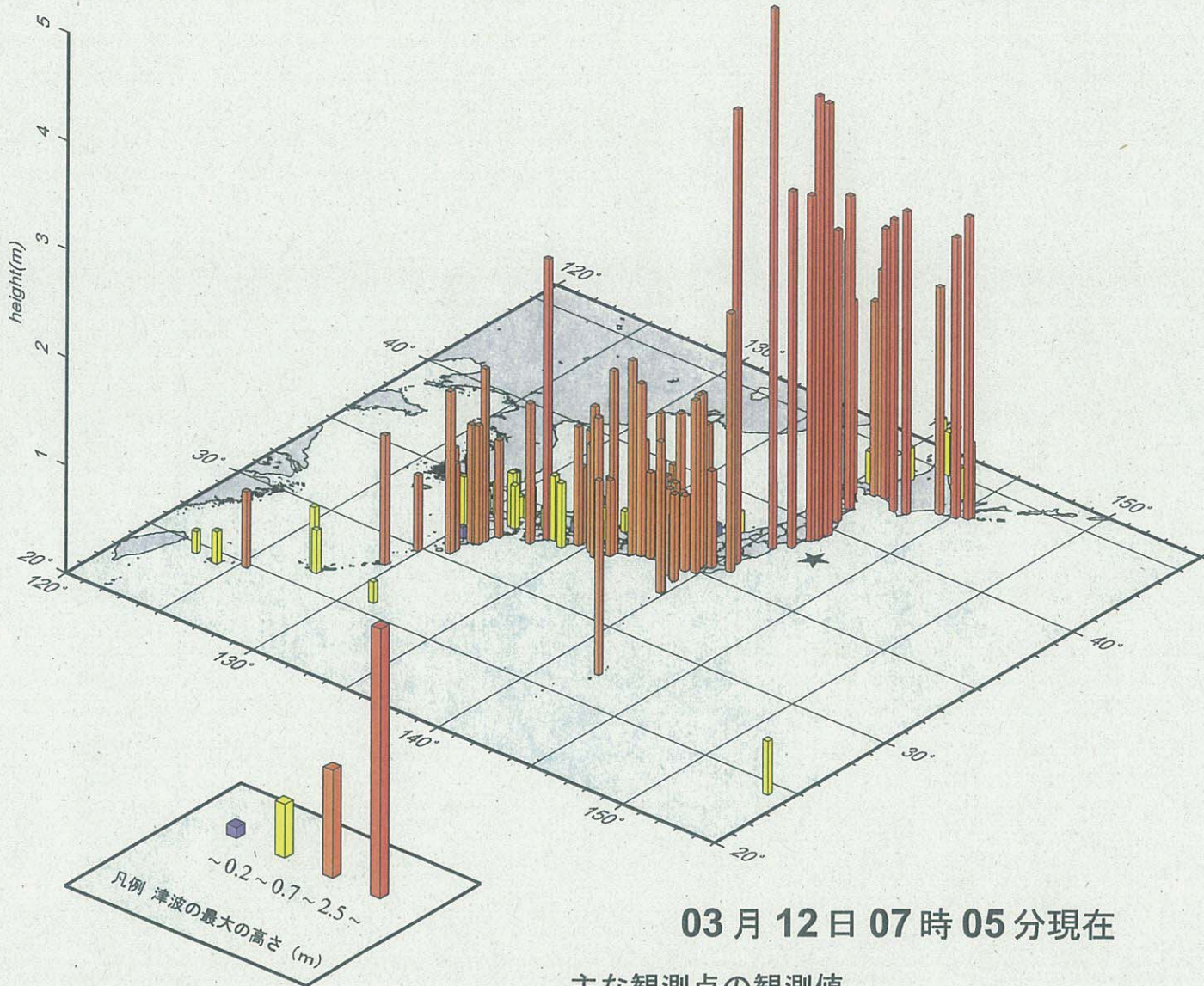
(2011年3月11日14時45分～12日06時00分、深さ90km以浅、 $M \geq 5.0$)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

M7.0以上の地震に吹き出しをつけている

津波観測状況



03月12日07時05分現在

主な観測点の観測値

	第一波			最大波	
	時刻	向き	高さ	時刻	高さ
相馬	11日 14時 55分	押し	0.3m	11日 15時 50分	7.3m以上
大洗	11日 15時 15分	押し	1.8m	11日 16時 52分	4.2m
釜石	11日 14時 45分	引き	0.1m	11日 15時 21分	4.1m以上
宮古	11日 14時 48分	押し	0.2m	11日 15時 21分	4.0m以上
石巻市鮎川	11日 14時 46分	押し	0.1m	11日 15時 20分	3.3m以上
大船渡	11日 14時 46分	引き	0.2m	11日 15時 15分	3.2m以上
むつ市関根浜	11日 15時 20分	引き	0.1m	11日 18時 16分	2.9m
根室市花咲	11日 15時 34分	引き	微弱	11日 15時 57分	2.8m
十勝港	11日 15時 26分	引き	0.2m	11日 15時 57分	2.8m以上
浦河	11日 15時 19分	引き	0.2m	11日 16時 42分	2.7m

平成23年3月12日10時30分
気 象 庁

平成23年3月12日03時59分頃の長野県北部の地震について

地震の概要

発 生 日 時 : 3月12日03時59分

マグニチュード : 6.7 (暫定値)

場所および深さ : 長野県北部、深さ8km(暫定値)

発 震 機 構 等 : 北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報値)

震 度 : 【最大震度6強】長野県栄村(サカエムラ)で震度6強、新潟県十日町市(トオカマチシ)、津南町(ツナンマチ)で震度6弱を観測したほか、中部地方を中心に、東北地方から近畿地方にかけて震度5強~1を観測しました。

○ 余震活動の状況

12日09時30分現在、震度3以上を観測する余震が25回発生しています。04時32分頃及び05時42分頃には最大震度6弱を観測する余震が発生しています。

○ 防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険性が高まっているおそれがありますので、余震活動に十分注意してください。

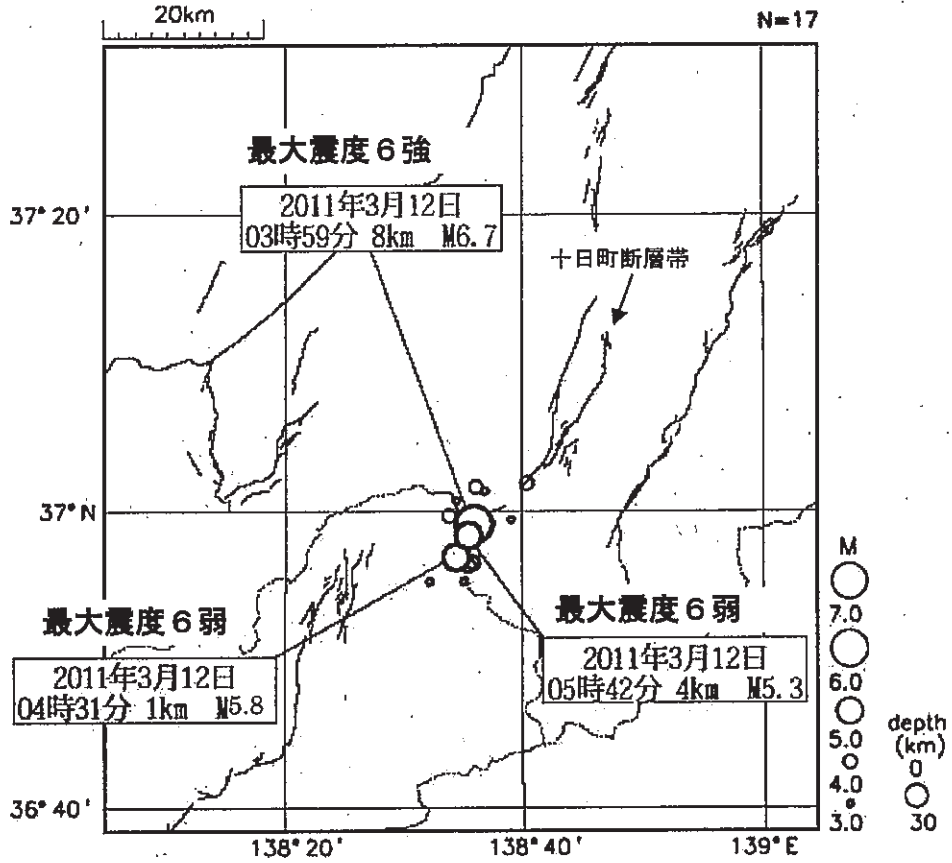
○ 緊急地震速報の発表

この地震に対し、地震検知から3.6秒後の03時59分26.4秒に緊急地震速報(警報)を発表しました。

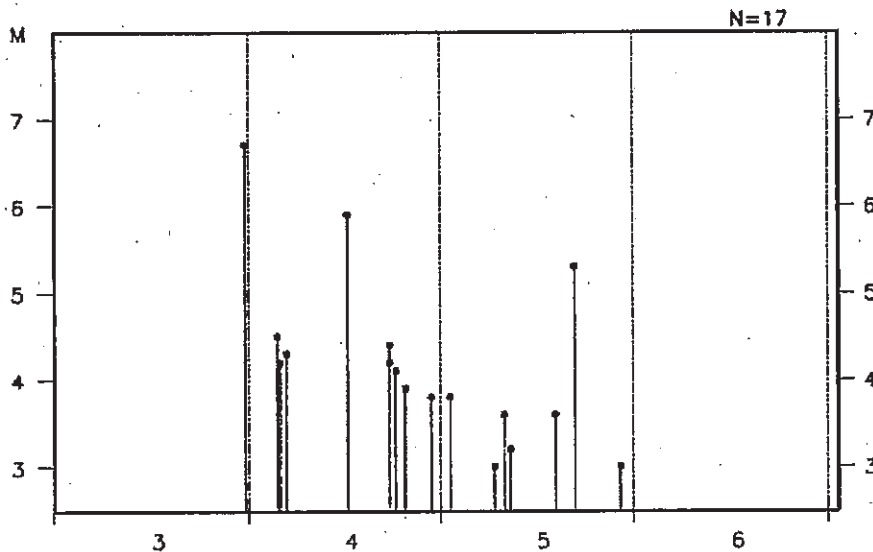
平成 23 年 3 月 12 日 長野県北部の地震の余震活動

震央分布図

(2011年3月12日 03時~07時00分、深さ30km以浅、M3.0以上)



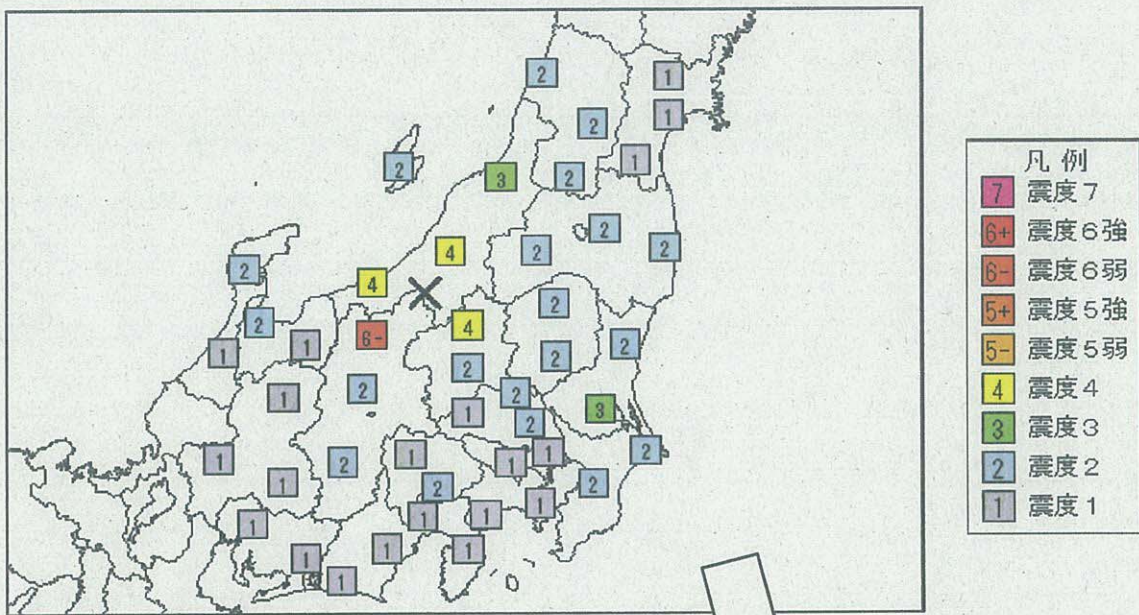
地震活動経過図



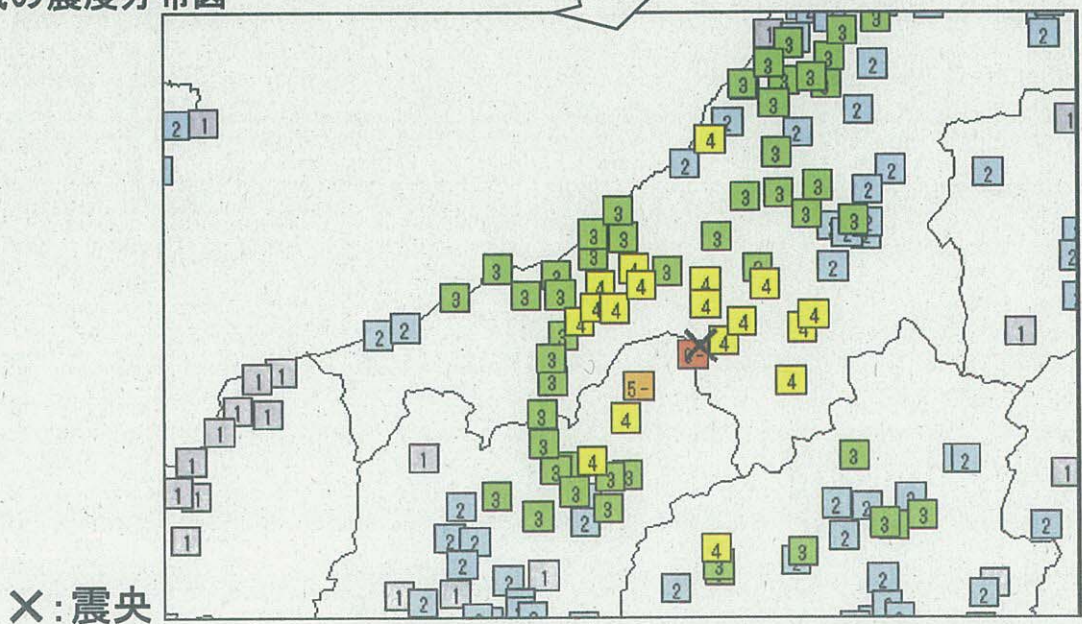
横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

平成23年3月12日04時31分の長野県北部の地震

震度分布図



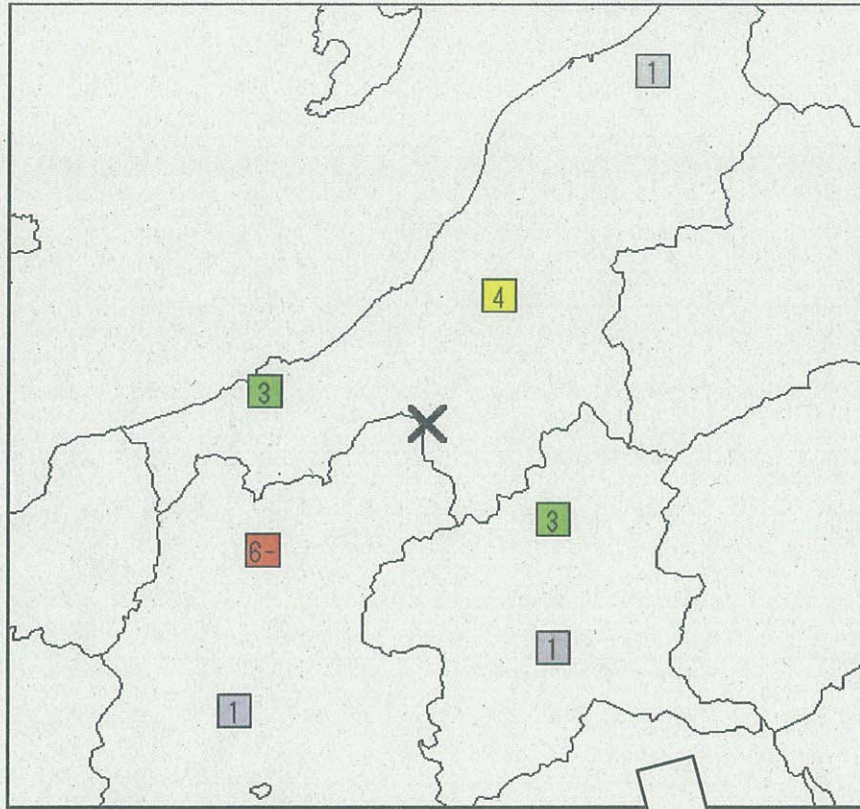
各地域の震度分布図



各観測点の震度分布図(震央近傍を拡大)

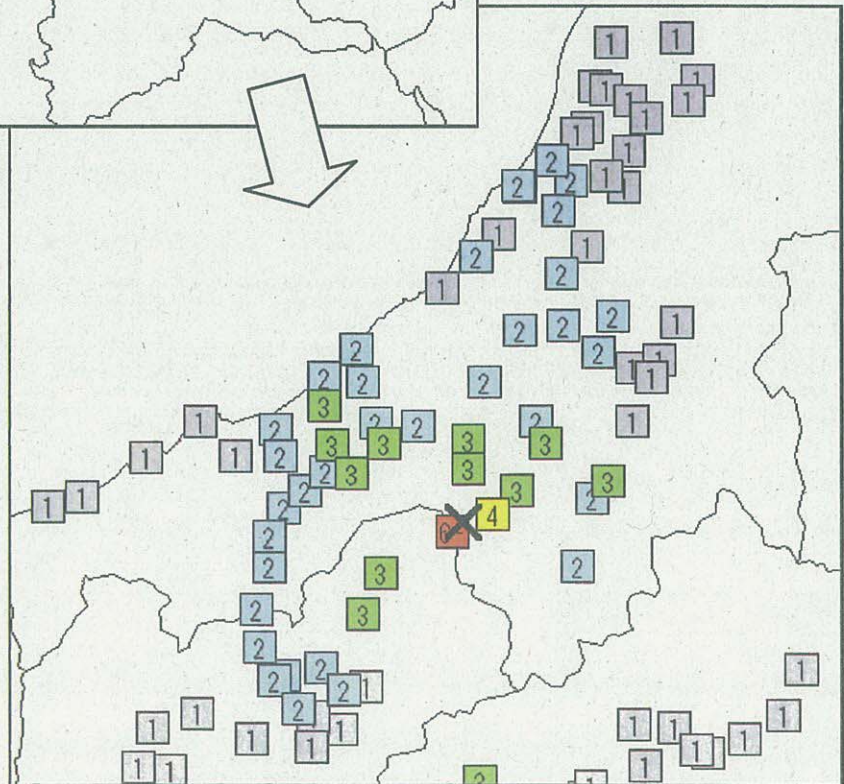
平成23年3月12日05時42分の長野県北部の地震

震度分布図



凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

各地域の震度分布図



×:震央

各観測点の震度分布図(震央近傍を拡大)

本震発生から3時間での地震回数(本震含む)

07:20 現在

	M		震度3	震度4	震度5-	震度5+	震度5	震度6-	震度6+	震度6	震度7	震度3以上合計
長野県北部	6.7	2011/03/12 03:59	13	5	0	0	0	2	1	0	0	21
新潟県中越地震	6.8	2004/10/23 17:56	20	19	4	4	0	1	2	0	1	51
能登半島地震	6.9	2007/03/25 09:41	9	2	0	0	0	0	1	0	0	12
新潟県中越沖地震	6.8	2007/07/16 10:13	4	2	0	0	0	0	1	0	0	7
岩手宮城内陸地震	7.2	2008/06/14 08:43	15	5	1	0	0	0	1	0	0	22

緊急物資の調整状況について

以下の通り、国及び地方公共団体及び関係省庁と調整中。

現時点で、とりまとめた結果は以下のとおり。

○物資の受け入れ拠点については、宮城県 28ヶ所、岩手県 1ヶ所、福島県 11ヶ所、が確定している。

○物資については、

- ・食パン15万食について輸送手段を確保し、現在、山崎製パンより宮城県の受け入れ拠点3か所（北部地方振興事務所、栗原地域事務所、登米地域事務所）に輸送中。
- ・にぎりめし1万1千食、即席ラーメン3万5千食、毛布9万7千枚についてトラックの手配中。
- ・水については、必要量を確認中。
- ・トイレ8千3百基は調達中。
- ・重油、軽油、ガソリン等25万8千リットルについては、輸送手段の調整中。

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震

第1回緊急災害現地対策本部会議

宮城県庁 第二会議室 平成23年3月12日 11:00～

議事次第

1. 本部長訓辞
2. 緊急災害対策本部の状況
3. 県要請事項への対応状況
4. 各省庁からの報告
 - ・ 緊急救助活動の状況
[警察、消防、防衛]
5. 緊急災害現地対策本部の当面の活動方針(案)
6. その他

緊急災害現地対策本部の当面の活動方針（案）

平成23年3月12日

第1回現地対策本部会議

緊急災害対策本部において決定された「災害応急対策に関する基本方針」及び東本部長指示を踏まえ、現地対策本部として、当面、以下の活動方針に沿って災害応急対策に全力を挙げる。

1. 被害状況等事態の把握を引き続き行うとともに、被災県の要請を把握し、緊急災害対策本部と連携をとって必要な調整を行う。
2. 被災者の救助・救出、消火活動、医療活動等被害拡大防止を当面の最重要課題とし、その情報収集に全力を挙げる。
3. 被災県より要請のあった食料、飲料水、重軽油等の物資の調達について緊急災害対策本部と連携をとって必要な調整を行う。
4. 電気、ガス、水道、電話等のライフラインの被害状況、復旧見通し等の把握を行う。

警 察 庁

緊急災害警備本部

平成23年3月12日

(10:30現在)

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の被害状況と警察措置 (第31報)

災害種別	人的被害					建物被害							道路損壊	橋梁損壊	山崖崩れ	鉄軌道	堤防決壊
	死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	浸水	全焼	半焼	一部損壊	非住家					
			重傷	軽傷	合計												
都道府県	人	人	人	人	人	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
北海道				1	1			2									
青森県		3	6	53	59								1				
岩手県	191	214															
宮城県	84	42			166	9	12			1	4		12		2		1
福島県	98	514			206	2400			76								
山形県	1		4	3	7	35	64						8		15		
秋田県			2	2	4				1	1	2	4					
東京都	4		13	36	49												
茨城県	8	3			367	58			8				185	22			
栃木県	3		6	84	90	6	5				595	82	62		11	3	
埼玉県			4	15	19		7	1		1	784	33	17			5	
群馬県	1		3	15	18						816	25	2				
千葉県	9	8	3	84	87	9	4	51	3	3	237	61	132		10	1	4
神奈川県	4				29										1		
高知県				1	1			2									
合計	403	784			1103	2517	92	56	88	5	2437	203	423	22	39	9	5

※ 前回からの修正は、下線で示した。

※ 未確認情報を含む。

※ 宮城県仙台市で、200~300人の遺体が発見されている模様(警察官の現認)。

※ 気象庁は本地震を「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」と命名。

1 地震情報

○ 発生日時 平成23年3月11日(金)午後2時46分

○ 震源地 三陸沖(北緯38.0度、東経142.9度)

○ 深さ 約24キロ(暫定値)

○ 規模 マグニチュード8.8

○ 震度

震度7 宮城県北部

- 震度6強 宮城県～宮城県南部、宮城県中部
福島県～福島県中通り
茨城県～茨城県北部、茨城県南部
栃木県～栃木県北部、栃木県南部
- 震度6弱 岩手県～岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部
福島県～福島県会津
群馬県～群馬県南部
埼玉県～埼玉県南部
千葉県～千葉県北西部

2 被害状況

(1) 被害関係

【東京都】

1.1日

- 東京都九段会館では大ホールの壁が崩壊している。屋内にいた10人を救出、死者2人、ほかに重傷9人、軽傷17人。
- また、都内数か所で火災が発生している模様。

【福島県】

1.1日

- 福島県内では、各地で停電が発生し、土砂崩落も発生している。福島県庁は機能不能。県警本部は15:05福島警察署に機能移転。
- 相馬市の海岸線で土砂崩れ多数、行方不明者多数。南相馬市では、倒壊家屋多数。クレハ工場が爆発の模様。
- 県内4か所で、生き埋め事案の模様。
- 海岸線1～2キロ水没。
- 白川署管内で生き埋め1か所。
- 午後3時30分ころ、JR新地駅付近において、乗員・乗客40人が車外に避難した後、津波により列車が横転。復旧の見通しなし（避難した乗客乗員は無事）。

1.2日

- 東北新幹線福島トンネル内で車両が停車、乗客1083人が車中泊。

【岩手県】

1.1日

- 岩手県内では、釜石市内の橋は崩落した模様。釜石市内住宅倒壊多数。
- 陸前高田市では、かなりの地域が水没している。
- 山田町では、2～3か所で煙が上がっている。
- また、津波により釜石港では車両20台が、海に浮いている模様。沿岸部では、かなりの被害が出ている模様。
- 津波被害は大船渡、釜石、大槌、山田、宮古、岩泉、田野畑、普代、親慈、野田洋野に及んでいる。多数の家屋・車両が押し流されている。
- 久慈市内で津波により、軽トラックが流され、1人が死亡の模様。
- 山田町内で、津波による死者多数。また大規模火災が発生。
- 大船渡市内の末崎細浦地区が壊滅状態。
- 綾里地区100棟が被害。越喜来浦浜地区200棟

- ・ 県内全域で停電。
- ・ 大槌町で、町全体が火の海となり、約1000人が避難。
- ・ 陸前高田市 高田病院の屋上に約100人が孤立している模様。付近は水没のため、救出困難。

12日

- ・ 沿岸部で多数の行方不明者（中学生23人など）がある模様。中学生23人の生存確認。
- ・ 陸前高田市では、市街地がほぼ水没（約5000世帯）
市街地で残っている建物は、キャピタルホテル、スーパー、市役所、N T Tのみ。
- ・ 三陸鉄道南リアス線、釜石～大船渡間の列車1本が不明の模様。
- ・ J R大船渡線2本、山田線1本の乗務員と連絡取れず。
- ・ 宮古市役所では2階まで冠水。市街地の大半が水没。田老地内、山田町もほぼ全域が水没。
- ・ 宮古マース（大型大衆浴場）では、3階に16人が取り残されており、屋上に待機するよう指示（自衛隊ヘリで救出予定）。

【秋田県】

11日

- ・ 秋田県内では、全域停電。

【宮城県】

11日

- ・ 仙台市内では、煙が上がっている。
- ・ 津波により海岸線の民家が、かなり流されている。行方不明者多数の模様。
- ・ 仙台市内では火災・ガス漏れ多数発生。太白区で旅館倒壊（1人救助済み）
- ・ 仙台空港滑走路まで津波到達。
- ・ 石油コンビナート塩釜特別防災地区で、大規模な爆発が連続発生。
- ・ 仙台空港では、空港滑走路まで津波到達。
- ・ 航空自衛隊松島基地が水没状態。
- ・ 仙台市泉区のスキー場で土砂崩れが発生、約200人が孤立。午前8時現在、40人が救助を待っている。
- ・ 宮城野区の小学校で火災が発生し、避難住民約600人が取り残された（救出活動中）。

12日

- ・ のびるの駅付近において、脱線状態の列車を県警ヘリが確認。
- ・ 南三陸町、石巻市、多賀城市、東松島市、気仙沼市、山元町、名取市、若林区、塩釜市、青葉区、岩沼市、宮城野区、亘理町等において、屋内・車内・エレベーター内、立体駐車場で、多数人がとり残されている模様。
- ・ 多賀城市のガス工場が爆発炎上。
- ・ 仙台新港コンビナートで大規模な爆発が連続発生。
- ・ 増田体育館及び岩沼市立体育館に100体単位の遺体が収容される予定。
- ・ 午前7時40分、J R仙石線野蒜駅から石巻よりの地点において、車内に104人が閉じこめられた事案で、宮城県警ヘリ「まつしま」が9人を救出。
- ・ 仙台市において、旅館が倒壊し、中から人の声が聞こえている（老女1人救出済）

み)。

【山形県】

11日

- ・ 中山町で倉庫10棟が倒壊。(人的被害軽傷2人)

【千葉県】

11日

- ・ 千葉市・成田市でビルが倒壊(計2件)
- ・ 市原市でガスコンビナート火災発生。

【青森県】

11日

- ・ 津波による人的被害はない模様。
- ・ 午後10時38分、新幹線上下2本で約800人が取り残される。
- ・ 午後11時10分、太平洋金属内(会社)で12人が孤立(警察部隊急行)

12日

- ・ 午前2時25分、六ヶ所再処理施設で、使用済み貯蔵プールで放射性物質を含む600リットルが漏れるも、外部への放射能漏れのおそれなし。

【茨城県】

11日

- ・ たかはぎ署管内で、1人が心肺停止。
- ・ 鹿島署管内で、コンビナート火災1か所の模様(火災にあらずガス漏れと判明)。
- ・ 花ぬき川で堤防決壊し、国道6号、常磐線が冠水(堤防決壊にあらず)。

【神奈川県】

11日

- ・ 戸部署管内でボーリング場の天井が落ち、3人負傷。小田原署管内で1人負傷。
- ・ 都築署管内で家屋倒壊1棟。
- ・ 家屋倒壊、エレベーター閉じ込めで負傷者あり。

【北海道】

11日

- ・ 人的被害なし。

【栃木県】

11日

- ・ わたらせ渓谷鉄道、土砂崩れにより全線不通。

(2) 警察官の被害

- ・ 福島～6人行方不明
 - ・ 岩手～18人行方不明(3人が流され、残り15人は安否不明)
1人死亡殉職
 - ・ 宮城～30人行方不明(安否不明)、軽傷4人、1人死亡殉職
 - ・ 千葉～行方不明なし(事実なし)
 - ・ 新潟～1人行方不明
- 合計 61人

(3) 原子力発電所関係

- ・ 青森、茨城、宮城、各県の原子力発電所については、外観異常なし。

【福島第1・第2原発】

福島第1原発1～3号機が緊急停止。同原発でオイルタンクが流された。
12日午前0時49分、福島第1原発1号機の原子炉格納容器の圧力が上昇。
バルブを開ける作業を検討中。

原子炉格納容器の圧力～1号機840パスカル（上限600キロパスカル）
2号機60キロパスカル
3号機280キロパスカル

福島第1原発1号機、2号機で、放射線量の上昇を確認。

150マイクロミリシーベルト（通常0.05マイクロミリシーベルト）

福島第2原発で、クレーン操縦室に閉じこめられた従業員1人は心肺停止、1人は軽傷。

浸水している2号機のタービン部分の中に、作業員2人が取り残されている模様。

福島第1原発 半径3キロに避難命令発令（11日21：23）

【避難状況】合計5,862人（12日0：30避難完了）

双葉町 3,057人

大熊町 2,805人

半径10キロに避難命令発令

半径10キロ圏内は、6割避難完了。

福島第2原発 半径10キロに避難命令発令（住民に対し避難広報を実施）

福島第2原発で原子炉の圧力を下げる作業を行うため、放射能が露出する可能性あり。

【避難状況】

バス70台で住民避難実施中。

3キロ圏の住民の避難開始（3,070世帯、8,210人）2割避難完了

楢葉町 1,585人

富岡町 6,633人

福島第一原発への電源車の進出状況（12日7：30現在）

出発総台数 53台

福島第1原発 14台到着

福島第1原発 11台まもなく到着予定

オフサイトセンター（大熊）19台待機中

現場へ移動中 9台

【宮城女川原発】

宮城女川原発緊急停止。放射能漏れなし。

宮城女川原発原子力建屋内で煙が充満しているが火災にあらず。

放射能漏れ等なし。

宮城女川原発原子力1号機タービンで火災が発生（23：00鎮火）

(4) 関東主要駅の滞留状況（12日3時00分現在）

【東京都】

新宿駅 通常状態

池袋駅 通常状態

上野駅 通常状態

- 東京駅 通常状態
- 渋谷駅 通常状態

【神奈川県】

- 桜木町駅 通常状態
- 関内駅 通常状態
- 新横浜駅 通常状態
- 横浜駅 通常状態
- 相模大野駅 通常状態
- 上大岡駅 通常状態
- 大和駅 通常状態
- 武蔵小杉駅 通常状態
- 日吉駅 通常状態
- 横浜駅周辺の滞留状況については、パシフィコ横浜及び横浜アリーナを開放した結果、混乱なく移動中。

【千葉県】

- 千葉駅 通常状態
- 船橋駅 通常状態
- 西船橋駅 通常状態
- 京成西船橋駅 通常状態
- 津田沼駅 通常状態
- 新松戸駅 通常状態

【埼玉県】

- 武蔵浦和駅 通常状態
- 浦和駅 通常状態
- 南浦和駅 通常状態
- 南越谷駅 通常状態
- 北朝霞駅 通常状態
- 川越駅 通常状態
- 本川越駅 通常状態
- 大宮駅 通常状態

(5) 避難状況 (12日10:00現在)

【岩手県】計24,173人

118カ所 24,173人

【茨城県】計58,263人

424カ所 58,263人

【青森県】計18,682人

238カ所 18,682人

【福島県】計104,887人

421カ所 104,887人

【栃木県】計9,530人

149カ所 9,530人

3 警察措置

(1) 警備体制

○ 警察庁

警察庁は、3月11日午後2時46分、警備局長を長とする災害警備本部を設置。午後3時14分、長官を長とする緊急災害警備本部に格上げ。

○ 関係管区局、関係都県警察

県警察	設置	解除	人数	体制
東北管区局	14:55			局長を長とする災害警備本部
関東管区局	14:50			局長を長とする災害警備本部
岩手県警察	14:46		1138	本部長を長とする災害警備本部
宮城県警察	14:46		3900	本部長を長とする災害警備本部
福島県警察	14:50			本部長を長とする災害警備本部
山形県警察	14:50			本部長を長とする災害警備本部
秋田県警察	14:46			本部長を長とする災害警備本部
警視庁	14:53			警視總監を長とする総合警備本部
茨城県警察	14:50			本部長を長とする災害警備本部
栃木県警察	15:05			本部長を長とする災害警備本部
埼玉県警察	15:00			本部長を長とする災害警備本部
群馬県警察	15:10			本部長を長とする災害警備本部
千葉県警察	14:55			本部長を長とする災害警備本部
神奈川県警察	14:55			本部長を長とする災害警備本部

(2) 警察広域緊急援助隊の派遣等

○ 警察庁は、午後3時07分、中部、近畿、中国の各管区警察局の各広域緊急援助隊に対し、出動を指示。

○ 午後3時07分、北海道警察広域緊急援助隊に対し、待機を指示（出動は12日予定）。

○ 午後4時25分、警視庁広域緊急援助隊に対し、出動を指示。

○ 午後4時45分、長野・新潟・山梨・秋田・山形の各県警察広域緊急援助隊に対し、出動を指示。

○ 午後7時15分、群馬・埼玉の各県警察広域緊急援助隊に対し、出動を指示。

○ 午後10時20分、北海道、警視庁、山形・埼玉・千葉・秋田の各県警察の広域緊急援助隊（刑事部隊）に対し、出動を指示。

○ 午後11時41分、新潟・長野・静岡・群馬の各県警察の広域緊急援助隊（刑事部隊）に対し、出動を指示。

○ 12日午前8時30分、神奈川・愛知・石川・富山・福井・京都・三重・岐阜・奈良・滋賀・和歌山・大阪・兵庫の各府県警察の広域緊急援助隊（刑事部隊）に対し、出動を指示。

【派遣状況】 ※警備部隊、交通部隊

部隊	人員	出動指示	出発	到着	派遣先	備考
秋田県警察	44	16:45	16:50	11日21:45	岩手県	
山形県警察	38	16:45	16:50	12日1:10	岩手県	
警視庁	152	16:25	17:05	12日2:45	宮城県	

群馬県警察	39	19:15	19:37	11日22:53	福島県
千葉県警察	64	20:55	21:35	12日1:12	福島県
埼玉県警察	68	19:15	19:37	12日2:55	福島県
新潟県警察	66	16:45	17:00	11日23:22	福島県
山梨県警察	38	16:45	17:00	12日5:55	岩手県
長野県警察	41	16:57	17:00	12日7:00	岩手県
静岡県警察	51	20:55	21:14	12日10:15	福島県
神奈川警察	55	20:55	21:17	12日5:13	福島県
富山県警察	44	15:07	17:18	12日7:44	宮城県
石川県警察	43	15:07	17:00	12日6:40	宮城県
福井県警察	40	15:07	18:11	12日9:15	宮城県
愛知県警察	213	15:07	15:40	12日10:20	宮城県
岐阜県警察	71	15:07	17:06	12日10:15	宮城県
三重県警察	45	15:07	17:30	12日9:08	宮城県
滋賀県警察	42	15:07	15:58		岩手県
京都府警察	131	15:07	17:45		岩手県
大阪府警察	265	15:07	16:06		岩手県
兵庫県警察	166	15:07	15:35		岩手県
奈良県警察	37	15:07	17:27		岩手県
鳥取県警察	29	15:07	18:15		福島県
島根県警察	37	15:07	19:00		福島県
岡山県警察	49	15:07	17:43		福島県
広島県警察	98	15:07	16:20		福島県
山口県警察	53	15:07	16:50		福島県
計	2019				

【派遣状況】 ※刑事部隊

部 隊	人 員	出動指示	出 発	到 着	派遣先	備 考
山形県警察	10	22:20	11日23:38		宮城県	
秋田県警察	9	22:20	12日0:40		宮城県	
警視庁	40	22:20	12日8:32		宮城県	
京都府警察	20	12日8:30			宮城県	
三重県警察	10	12日8:30			宮城県	
岐阜県警察	10	12日8:30			宮城県	
奈良県警察	10	12日8:30			宮城県	
滋賀県警察	10	12日8:30			宮城県	
和歌山警察	10	12日8:30			宮城県	
北海道警察	20	22:20			岩手県	
千葉県警察	10	22:20	12日3:57		岩手県	
埼玉県警察	10	22:20	12日0:45		岩手県	
神奈川警察	20	12日8:30			岩手県	
愛知県警察	20	12日8:30			岩手県	

石川県警察	10	12日8:30			岩手県
富山県警察	10	12日8:30			岩手県
福井県警察	10	12日8:30			岩手県
新潟県警察	10	23:41	12日2:30	12日7:40	福島県
長野県警察	10	23:41	12日2:40		福島県
静岡県警察	10	23:41	12日4:30		福島県
群馬県警察	10	23:41	12日4:00		福島県
大阪府警察	40	12日8:30			福島県
兵庫県警察	20	12日8:30			福島県
計	339				

※ 応援派遣総数

岩手県～802人
 宮城県～608人
 福島県～609人

内到着済み部隊161人
 内到着済み部隊608人
 内到着済み部隊343人

(3) 災害救助犬の派遣

○ 行方不明者捜索のため、警視庁災害救助犬4頭（ハンドラー6人）を、福島県に派遣。

12日午前3時45分、白河市の捜索現場に到着、捜索活動を開始。

○ 行方不明者捜索のため、神奈川県警察災害救助犬6頭（ハンドラー8人）を、宮城県に派遣

○ 行方不明者捜索のため、北海道警察災害救助犬1頭（ハンドラー2人）を岩手県に派遣予定（日程調整中）。

(4) 警察用航空機の運用

○ 1.1日（いずれも自県内で運用）11機

- 北海道警察 2機
- 岩手県警察 1機
- 宮城県警察 2機
- 山形県警察 1機
- 福島県警察 1機
- 愛知県警察 1機
- 警視庁 3機

○ 1.2日

部 隊	機数	出発	到着	派遣先	備 考
新潟県警察	2				
愛知県警察	1	9:00予定		宮城県	
警視庁	1	8:30 予定		宮城県	
北海道警察	1		10:00予定	岩手県	
警視庁	1	8:30予定		岩手県	
神奈川警察	1		7:30予定	福島県	
警視庁	1	8:00予定		福島県	

自県航空機

北海道警察	4機	8:00出発
宮城県警察	1機	5:00出発
岩手県警察	1機	5:10出発
福島県警察	1機	5:00出発
青森県警察	1機	7:12出発

(5) 関係都県警察の措置

○ 福島県警察

1 1 日

- 機動隊26人、特別機動隊30人を、白河・双葉、いわきの各警察署に派遣。
- 福島第一原子力発電所周辺の避難誘導対策として、福島県警の部隊70人を現地に派遣。うち56人が到着し、避難誘導を開始中。

1 2 日

- 午前0時18分、福島第一原子力発電所周辺の避難はほぼ完了し、機動隊員等が、周辺の交通規制を実施し、避難の最終確認を実施中。
- 午前0時30分避難完了を受け、機動隊員等による住民不在となった地域の警戒活動を実施。
- 午前3時52分、白河市において、警視庁災害救助犬4頭が搜索活動を開始。搜索終了後、午前5時05分南相馬署管内に転進。
- 機動隊36人、管区機動隊61人、第二機動隊46人が、浜通り方面に進出し、救出救助活動を実施。
- 10キロ圏外にバス70台で避難実施中、パトカーによる避難広報を実施。警察部隊36人が避難誘導、交通整理活動を実施中。

○ 神奈川県警察

- 機動隊等117人を、横浜駅に配置し、駅滞留者対策を実施。

○ 警視庁

- 機動隊約300人を新宿・渋谷・池袋の各駅に派遣し、帰宅困難者対策を実施。

○ 岩手県警察

1 1 日

- 自県トリアル部隊20人が、大船渡、陸前高田、釜石、宮古、岩泉に出動し被害情報収集中。
- 午後11時03分、秋田県広域緊急援助隊44人が、大船渡方面へ進出。

1 2 日

- 山形県広域緊急援助隊38人が、陸前高田方面へ進出。
- 長野県広域緊急援助隊41人が、久慈方面へ進出。

○ 青森県警察

1 1 日

- 機動隊21人が、八戸市に進出し、救出救助活動を実施。

1 2 日

- 午前7時46分、警備艇「みちのく」館鼻漁港沖3マイルの地点で監視中。

○ 栃木県警察

1 2 日

- 機動隊17人が、本田技研の倒壊現場に進出し、救出救助活動を実施。

- 管区機動隊7人が、宇都宮市の倒壊現場に進出し、救出救助活動を実施。女性1人を発見。
- 機動隊29人、管区機動隊56人が、那須烏山の土砂崩れ現場に進出し、救出救助活動を実施。女性1人を遺体で発見。
- 宮城県警察
- 12日
- 午前7時40分、JR仙石線野蒜駅から石巻よりの地点において、車内に104人が閉じこめられた事案で、宮城県警ヘリ「まつしま」が9人を救出。

東北地方太平洋地震

(外務省の対応)

平成23年3月12日

外務省緊急対策本部(11:00)

1. 外国による支援

(1) 50ヶ国・地域が支援申し入れ。国連OCHAによれば50以上の救助チームが支援の用意あり。国連事務総長より国連災害アセスメントチームの派遣を含めた体制構築を指示した旨表明あり。各国の支援表明は、①緊急援助隊、②物資・機材、③医師含む専門家、④一般的支援表明に大別される。

(2) 「救助犬を含めたレスキューチーム」：米韓豪NZに派遣を要請

→米(200名、USAIDより支援発表)

→韓(犬2匹、5名、14:45羽田着)

→豪(未定)

→NZ(65名)

→独(犬3匹、41名(別途スウェーデン、ルクセンブルク))

→メキシコ(犬10匹以上、24名、2陣に分かれ出発。1陣は12日午前発)

→星(犬5匹、5名、17:35成田着)

それ以外にも中、台、比、スイスが救助犬派遣を申し出。英仏等は緊援隊が空港にスタンド・バイ。中、露等多数国より支援申し出。

(3) 在日米軍による協力

—空母「ロナルド・レーガン」：12日15時頃に宮城沖到着予定

—揚陸艦「トーテュガ」：12日佐世保を出航、宮城沖に派遣予定

—三沢飛行場・横田飛行場の使用許可(米韓豪NZからの支援)

(4) 課題

—米韓豪NZ以外の国々への対応(救助犬)及び救助犬以外の支援への対応

—被災現場へのアクセス(自衛隊が輸送)、通訳、検疫等国内諸規制

2. 在日外国人の安否確認

(1) 外交団：在京外交団及び国際機関に対し本地震に関する関係連絡先を周知。在京外交団等の被害は軽微な物損のみ。唯一の東北地方所在公館である在仙台韓国総は館員の全員無事を確認(家族は安否確認中)。東北出張中の在京蘭大アタッシェ他2名の安否不明。

(2) JICA：研修員51名(東北地方7名)の安否確認未了(11日23時現在)。

(3) 国際交流基金：訪日中の外国人の安否確認了(12日朝)。

(4) 在日外国人一般：外交団の関心は高いが、被害が甚大で進捗していない。

諸外国からの支援申し入れ一覧

2011年3月12日 06:00現在 外務省大臣官房総務課

国・地域名	日時(現地時間)	申し入れ元	日本側受付	申し入れ支援内容等	受入の諾否等	決定	到着	帰国
オーストラリア	11日17:50	国防省	在豪州大	支援が必要であればいつでも連絡いただきたい。				
オーストラリア	11日20:00	外務貿易省	在豪州大	あらゆる支援をオファーする用意がある。	救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請。			
台湾	11日15時前	楊進添・外交部長	交流協会台北事務所長	台湾側として何でもできることがあればお手伝いしたい。				
台湾	11日17時	内政部消防署	交流協会台北事務所	台湾側はいつでもレスキュー隊を派遣する用意がある。				
台湾	11日19:00		交流協会台北事務所	災害救援のため、25名のレスキュー隊、捜索機材、捜索犬2匹を待機。				
米国	11日16:15	在京米国大	外務省	在日米軍も含め米国政府としてお役に立てることがあれば協力したい。原発技術専門家提供用意あり。	原発については現時点ではお願いすることはできないが、何かあれば連絡させて頂くとの回答。救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請。			
米国	11日18:20	在日米軍	防衛省	ルース駐日大使から北澤防衛大臣に対し、できる協力は何でもしたいとの申し出あり。(防→外)				
米国	11日18:55	在日米軍	防衛省	空母「ロナルド・レーガン」が20時間後に宮城県沖に到着すべく航行中。(防→外への連絡)				
米国	11日19:10	在日米軍佐世保基地政	外務省	佐世保海軍施設のドック型揚陸艦「トーテュガ」(全長185.8メートル)を宮城県沖に派遣する。				
米国	11日10:00	国土安全保障省	在米国大	指紋照合を行うなど身元確認について協力用意あり。				

韓国	11日16:40	外交通商部	在韓国大	救助隊を派遣する用意がある				
韓国	11日16:50頃	外交通商部	在韓国大	日本として支援が必要であれば、韓国外通部としていかなる支援も検討する用意がある。				
韓国	11日19:48	外交通商部	在韓国大	ARF災害救援実働演習参加予定の救助隊を派遣する用意あり。(救助隊76名, 医療陣37名, KOICA4名, 外通部2名, 計119名)				
韓国	11日21:50	外交通商部	在韓国大	救助隊による人命救助, 医療陣による応急措置, 追加的な救援物資の提供が可能。	救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請。			
韓国	11日23:40	外交通商部	外務省	救援物資(テント, 食料等), DNAテストの技術者の用意あり。				
韓国	11日23:41	外交通商部	在韓国大	2匹の救助犬の派遣が可能(追加的に5匹の救助犬の派遣を検討)				
中国	11日17:00過ぎ	外交部	在中国大	緊急援助隊・医療隊を派遣する用意がある。				
中国	11日	梁光烈・国防部長	在中国大	北澤防衛大臣宛のお見舞い。貴国災害救援のための力の及ぶ限りの援助をする用意あり。				
中国	11日19:00	交通運輸部	在中国大	捜索救助分野で何かお手伝いできることがあれば、遠慮なく言っていただきたい。				
中国	11日22:30	外交部	在中国大	交通運輸部所属の救助船が上海港に待機しており, 72時間以内に被災地海域に到達可能。同船にはダイバーが乗船しており, クレーンが搭載されている。				
中国	11日23:50		在中国大	救助犬10匹, 介添人30人をチャーター機にて数時間後に派遣可能。				

中国	12日00:20		在中国大	小型発電機, 毛布等の救援物資を何時でも発送可能。B-747着陸可能な空港を要教示。				
メキシコ	11日17:15頃	在京メキシコ大	外務省	緊急援助隊を派遣する用意がある。				
メキシコ	11日18:30頃	在京メキシコ大	外務省	メキシコの緊急援助隊は日本政府からの要請があれば直ぐにメキシコを出発する体制整っている。	メキシコ側から救助犬を含むレスキューチーム派遣を表明。			
タイ	11日14:10	外務省	在タイ大	日本が何らかの支援を必要とするのであれば、いつでも検討する用意がある。				
ニュー ジーランド	11日17:30	在京NZ大	外務省	マカリー外相から、いかなる支援も行う用意があるとのメッセージ。				
ニュー ジーランド	11日18:10頃	在京NZ大	外務省	NZ防災省から、12時間以内に65人のアーバン・レスキュー・チーム送る用意がある。	救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請。			
イスラエル	11日午前	外務省	在イスラエル大	何かできることがあれば相談いただきたい。				
シンガ ポール	11日18:30	在京シンガポール大	外務省	援助申し出あり。具体的内容は在京大使館と本国政府で検討中。				
シンガ ポール	11日23:30	外務省	在シンガポール大	4匹の犬と4人の救助隊員。早朝の便で送る用意がある。	救助犬を含むレスキューチーム派遣を 発表済み。			
インドネシ ア	11日午後	開発監査規制大統領作	在インドネシア大	何か必要があれば何なりと要請して頂きたい、可能な協力を行う用意あり。				
アゼルバ イジャン	11日18:20	在京アゼルバイジャン大	外務省	いつでも日本政府に支援を行う用意があるので、必要があれば連絡願いたい。				
インド	11日14:00	外務省	在インド大	日本に対するいかなる協力も惜しまない。				
ロシア	11日12:00	外務省	在ロシア大	大統領も述べたように支援の用意がある。いかなる支援をすべきか、シグナルがほしい。				

ロシア	11日	外務省	在ロシア大	以下の支援の用意あり。①極東地域からの専門家及び航空機(ヘリ)の派遣, ②被災現場への非常事態省捜索・救難部隊の派遣, ③心理療法士も含めた航空機動病院				
トルコ	11日 12:30	外務省	在トルコ大	日本へ緊急援助(救援隊の派遣など)を行う用意あり。				
ドイツ	11日 19:26	在京ドイツ大	外務省	独災害援助隊を通じて人的及び物的な支援を行う用意がある(コンタクト先を教えてほしい)。	救助犬を含むレスキューチーム派遣を发表済み。ルクセンブルク及びスウェーデンも混成で参加可能性あり			
フランス	11日 19:10	在京仏大	外務省	サルコジ大統領発首総理宛書簡による支援の申し出。				
ベルギー	11日 19:20	在京ベルギー大	外務省	日本政府として支援の申し出をしているか照会。EU内民間支援機関が支援を検討中の由。				
ウクライナ	11日 18時頃	外務省	在ウクライナ大	日本が援助の受入を表明したと聞いたが、ニーズについて承知したい。				
スロバキア	11日 18:30	環境省	在スロバキア大	環境相発書簡にて、捜索・人命救助の経験豊富なレスキュー隊員派遣のオファーあり。				
UAE	11日	外務省	在UAE大	サーイフ内務大臣からの申し出として、UAEの緊急援助チームを直ちに日本に派遣する用意				
スイス	11日 18:30	スイス外務省	在スイス大	緊急援助チーム派遣(100名、操作犬12匹、17,000キロの機材)の用意あり。24時間、2カ所で活動可能であり、自律的に動ける。				
スイス	11日 19:45	スイス外務省	在スイス大	先に連絡した緊急援助チームの他、①医療、②環境、③水、④ロジスティックス、⑤個人特定の5分野に関し、種目別の専門家を派遣する用意あり。派遣を希望される場合には、日本時間12日午前6時までには回答がほしい。				
ハンガリー	11日 19:00	副首相・行政司法相	在ハンガリー大	いつでも日本政府に支援を行う用意あり。				
ポーランド	11日 19:08	パブラク副首相兼経済相	在ポーランド大	緊急援助隊と外務省経済開発局が支援準備を整えている。支援の用意がある。				

ヨルダン	11日午後	アブドゥラー国王	在ヨルダン大	被災者の役に立てる寝袋や医薬品が必要であればいつでも支援する用意がある。御連絡いただければ支援物資を積んだヨルダン空軍の飛行機を明日にも出発させることができる。				
英国	11日19:40	外務省	在英国大	キャメロン首相とヘーグ外相は弔意とお見舞いのメッセージを発出。可能な限りの支援を行う用意あり。要請があれば直ちに知らせてほしい。				
英国	11日20:50	首相補佐官	在英国大	キャメロン首相はできる限りの支援を提供するよう指示。ヘーグ外相が議長となり、危機管理対策会議を開催、情報収集及び英政府としてとるべき支援を検討中。				
英国	12日	在京英大次席	外務省	既にチャーター機を手配し、35人の救助隊員がいつでも日本に向けて出発できる体制を整えている。				
EU	11日	欧州委員会 人道支援・市民保護庁	EU代表部	捜索救援及び医療を含め、緊急人道支援の用意あり。要請があれば、EU27カ国の待機チームと連絡をとり、需要に応じたチーム(人員及び機材)を迅速に派遣する用意あり。				
EU	11日21:04	在京EU代	外務省	日本政府からモニタリング情報センター宛に書面での支援要請をしてほしい。右要請を受け、レスキューチームや各種専門家、医薬品等物資等の支援が可能。				
チリ	11日21:00頃	在チリ大	外務省	ピネラ大統領が、できる支援があれば行うと述べた。				
スペイン	11日19:30	国際協力庁	在スペイン大	仮に人道支援で我々ができることがあれば言うてほしい。				
ギリシャ	11日19:00過ぎ	外務省	在ギリシャ大	弔意表明及び喜んで支援したい。				
香港	11日	ドナルド・ツァン行政長官	香港総	お見舞いメッセージで支援提供の用意あり。				
パキスタン	11日	統合参謀会議議長	在パキスタン大	何かパキスタン軍にできることがあれば言うてほしい。機材でも要員でも、直ちに投入用意あり。				

デンマーク	11日	ラスムセン首相	外務省	菅総理宛書簡にて、弔意及び支援の用意を表明。				
セルビア	11日19:55	内務省	在セルビア大	弔意表明、捜索専門家(1名)及びレスキューチーム派遣の用意あり。				
ウルグアイ	11日10:00前	外務省	在ウルグアイ大	できることがあれば協力したい。赤十字からも支援の申し出あり。				
モンゴル	11日夜	外交・貿易大臣	在モンゴル大	何らかの支援を行いたい。12日に臨時閣議を開催して協議予定。				
エクアドル	11日7:40	コレア大統領	在エクアドル大	できる支援があれば行う。				
イラン	11日16:30	外務省	在イラン大	日本側からの緊急援助の申し入れがあれば、できる限りのことを行う用意がある。				
キルギス	11日23:30	外務省	在キルギス大	被災者救済・復興のための支援を提供する用意あり。具体的には特別機による非常事態省の25名の救援部隊の派遣、緊急人道支援物資の供与が可能。明12日日本時間15時頃から日本の地震救済にかかる緊急閣議が開催予定、右までに回答がほしい。				
マレーシア	11日23:30	外務省	在マレーシア大	約25人の捜索救助隊及び医療支援チーム(救助犬は含まれない)。				
アルゼンチン	11日	外務省大臣補佐官	在アルゼンチン大	日本が必要とする場合、いつでも支援する用意がある。				
フィリピン	12日00:30頃	外務省	在フィリピン大	20数名からなる精神科医チームを送る用意あり。				
カナダ	11日9:15	ハーパー首相	在カナダ大使	支援の申し出あり。				
イタリア	11日	防災庁	在イタリア大	レスキューチームの日本への派遣を検討中。				
スウェーデン	12日04:00	外務省	在スウェーデン大	スウェーデンの要員と救助犬を、独の要員と一緒にの飛行機で、明日日本に救援に向かわせるべく準備を整えた。				

ゴソボ	11日	パツォーリ大統領	在オーストリア大	菅総理宛書簡にて、弔意表明、支援の用意あり。				
アイスランド	11日	外務省	在アイスランド大	要請があれば速やかにレスキュー隊を派遣。35人の隊員が20時間で被災地に到着し、活動開始可能。				
ノルウェー	11日 25:00	首相府	在ノルウェー大	いかなる支援もする用意あり。				
ルーマニア	11日 17:50	バセスク大統領	在ルーマニア大	弔意表明、支援を行う用意あり。				
スロベニア	11日	外務省	在スロベニア大	弔意表明、支援を行う用意あり。				
OCHA	11日 19:50 現在	OCHAホームページ		すでに50以上の外国の救助チーム(うち中国等3つのチームがスタンバイ=出動準備)及び3つの外国の医療チーム(うち2つがスタンバイ)が支援の用意ありと掲載。				
OCHA	11日	OCHA	寿府代	ニーズのアセスメントのため少人数の専門家派遣用意あり。				

平成23年3月12日9時30分現在

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の被害状況及び対応について(第5報)

厚生労働省
※下線部分が前回からの変更点

1 厚生労働省における対応

- 3月11日(金) 14時46分 三陸沖で地震発生
14時50分 厚労省災害対策本部立ち上げ
15時15分～ 大臣室にて省内対策本部会議打ち合わせ → 各局に指示
→ 情報収集
・災害救助法の適用に関し、被災都県に助言
・医療施設の被害状況、稼働状況等を把握
・全国の血液センター等の被害状況及び血液製剤の供給情報を把握
- 16時00分 政府調査団に厚労省担当官1名を派遣(宮城県)
- 3月12日(土) 6時45分 政府調査団に厚労省担当官2名を派遣(岩手県、福島県)
9時00分 厚生労働省現地連絡本部設置

2 厚生労働省関係の災害情報及び対応状況

(1) 災害救助法関係

○災害救助法の適用〔都道府県知事が決定〕

- ・宮城県が全35市町村に適用 (3月11日22時30分)
- ・岩手県が12市町村に適用 (3月11日20時00分)
- ・東京都が4.6区市町に適用 (3月12日8時30分) ・ ・ ・ 帰宅困難者対応

(2) 医療活動関係

<DMATの対応経緯>

・3月11日(金)

- 15時04分 DMAT(災害派遣医療チーム)待機指示
- 15時45分 宮城県からDMATの派遣要請
- 15時45分 厚労省より宮城県へのDMAT派遣を指示
(参集場所:仙台医療センター)
- 16時05分 厚労省より福島県へのDMAT派遣を指示(参集場所:県立医大)
- 17時30分 茨城県からDMATの派遣要請
- 17時30分 厚労省より茨城県へのDMAT派遣を指示
(参集場所:つくばメディカルセンター病院)
- 17時41分 岩手県からDMATの派遣要請

17時41分 厚労省より岩手県へのDMAT派遣を指示（参集場所：岩手医科大）

<DMATの活動状況（3月12日5時00分現在）>

○広域災害救急医療情報システム（EMIS）に基づく各病院からの報告による集計

活動中	52チーム
※ 福島県立医大病院	12チーム
仙台医療センター	6チーム
岩手医科大病院	5チーム
筑波メディカルセンター病院	17チーム
その他	12チーム
移動中	150チーム
対応可能	131チーム
検討中	52チーム

<東京電力（株）福島第一原発事象に関係した被ばく医療関係の対応>

・3月11日（金）

18時30分 医政局より福島県立医大病院に対し、今後の医療体制の確保について依頼

19時03分 厚生科学課より経産省対策本部（医療班）に1名派遣

21時23分 総理より、福島第一原発の半径3キロ以内に避難勧告

21時25分 福島第一原発の避難勧告を受け、経産省原子力災害対策本部事務局より、福島医大病院に対し、被ばく患者発生時の患者の受入れを要請

・3月12日（土）

8時10分 自衛隊ヘリにてREMAT（緊急被ばく医療支援チーム。医師1名、看護師1名、放射線測定師1名）が（独）放射線医学総合研究所を離陸

○原発事故の対応については、福島県立医大病院、福島労災病院で受け入れ体制を整備、鹿島労災病院で応援体制を準備

<透析医療の確保>

○都道府県宛に事務連絡を発出し、透析医療の確保及び社団法人日本透析医会災害時情報ネットワークの活用により、地域住民に対する情報提供を図るよう、協力願ひ済（3月11日）。

○社団法人日本透析医会においては、同会の災害時情報ネットワーク上で、登録されている透析医療機関の①透析の可否、②被災の有無、③透析室貸出可能病床、④透析受入可能状況、⑤その他不足物品や連絡事項等を各施設で登録をしている。この情報は、一般からアクセスできる。

<日本赤十字社の活動状況>

- ・各地から39班の救護班が出動中(3月12日0時15分現在)
- ・青森県支部が青森県内に毛布を700枚配送済み、各地から山形県支部、福島県支部にあてて毛布を配送中

(3)厚生労働省関係施設

○医療機関関係

①災害拠点病院の状況(全国で609病院)

○宮城県・福島県の災害拠点病院の状況

※E.M.I-S又は医療機関への連絡による集計(3月12日7時15分現在)

人的被害について(※一部連絡の取れない病院あり)

宮城県(災害拠点病院14病院) 被害なし11病院、不明3病院

福島県(災害拠点病院8病院) 被害なし8病院

患者の受入状況について(※一部連絡の取れない病院あり)

宮城県 11病院で受入あり

重症78人、中等症133人、軽症64人、死亡5人

福島県 7病院で受入あり

重症66人、中等症33人、軽症16人、死亡1人

○宮城県・福島県を除く45都道府県の災害拠点病院の状況

※各都道府県の報告による集計(3月12日5時00分現在)

人的被害の報告なし(45都道府県)

患者の受入不可の報告(11道県22病院)

※ ライフラインの停止等の理由による

②国立病院等の状況(3月11日24時30分現在)

- ・被害状況を確認中。極めて連絡が取りにくい状況であり、各方面から状況確認に努めるものの、連絡が取れない病院も1病院ある(釜石病院)。

また、複数の病院において、停電のため自家発電で対応を行っている(東北地方所在国立病院:15病院)

- ・国立ハンセン病療養所については、東北地方の2施設(松丘保養園(青森市)、東北新生園(宮城県登米(とめ)市))において人的被害がないことを確認、当面のライフラインも確保。

③社会保険病院の状況(3月12日1時00分現在)

- ・建物被害等はあるが、仙台社会保険病院を除く、東北地方の4の病院(宮城社会保険病院、秋田社会保険病院、社会保険二本松病院、東北厚生年金病院)は患者受入中。

ライフライン等の状況は以下のとおり。

- ・ 停電 : 青森労災病院、東北労災病院、秋田労災病院
- ・ 断水 : 東北労災病院
- ・ ガスが不通 : 東北労災病院、福島労災病院、鹿島労災病院
- ・ オペ室が使用不可 : 青森労災病院、東北労災病院

④ 労災病院の対応状況 (3月12日6時00分現在)

- ・ 一部建築被害等あるが、東北・関東の全労災病院 (9病院) で患者受け入れ可。ただし、ライフライン等の状況は以下のとおり。
- ・ 停電 (自家発電対応可能) : 青森労災病院、東北労災病院、秋田労災病院
- ・ 断水 : 東北労災病院
- ・ ガスが不通 : 東北労災病院、福島労災病院、鹿島労災病院
- ・ オペ室が使用不可 : 青森労災病院、東北労災病院

○ 水道施設関係

① 被害状況 (3月12日 7時00分現在)

東北・関東地方で少なくとも6.0万戸で断水被害が生じている状況。

- ・ 北海道
 - 夕張市 : 配水本管の破損による断水 約40戸→断水5戸 (復旧35戸)
- ・ 宮城県
 - 仙南・仙塩広域水道用水供給事業、大崎広域水道事務所において用水供給停止
 - 全戸断水 柴田町、山元町、角田市、岩沼市、村田町、栗原市、利府町、色麻町
 - 一部断水 丸森町、白石市
- ・ 青森県 : 停電 水道管破裂
- ・ 山形県
 - 山形市 : 取水停止による断水
 - 長井市 : 断水
 - 遊佐町 : 一部断水
- ・ 岩手県
 - 二戸市 : 断水 20戸
 - 久慈市 : 断水
 - 盛岡市 : 断水 64戸
 - 滝沢村 : 断水 20戸
 - 北上市 : 断水 20戸
- 太平洋沿岸部の情報収集困難
- ・ 秋田県
 - 秋田市 : 断水 690戸
- ・ 福島県
 - 福島地方水道用水供給事業 浄水場内で管路破断
- ・ 茨城県
 - 茨城県による用水供給事業において10浄水場のうち8浄水場で送水停止
 - 全域断水 16市8町2村1企業団 (水戸市、土浦市、石岡市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、潮来 (いたこ) 市、常陸大宮市、那珂 (なか) 市、稲敷 (いなしき) 市、桜川市、神栖 (かみす) 市、行方 (なめがた)

一部断水 市、銚田（ほこた）市、大子町（だいごまち）、阿見町（あみまち）、河内町（かわちまち）、五霞町（ごかまち）、利根町、湖北水道企業団、高萩市、鹿嶋市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、美浦村、9市1町1企業団（結城市、下妻（しもつま）市、常総市、つくば市、境町、日立市、筑西市、坂東市、かすみがうら市、小美玉市、県南水道企業団）

栃木県	
那須塩原市	: 配水池損傷 断水 150戸 → 復旧 (19:49)
那須町	: 断水 4千戸
足利市	: 停電による断水
真岡市（もおか）	: 断水20,000戸
大田原市	: 断水300戸 → 断水100戸（復旧200戸）
さくら市	: 断水410戸
矢板市	: 断水10,000戸
那珂川町	: 断水3,829戸
市貝町（いちかい）	: 断水3,000戸
芳賀町（はが）	: 断水4,000戸
高根沢町	: 断水8,300戸
益子町（ましこ）	: 断水100戸
群馬県	
下仁田町	: 断水 約200戸
前橋市	: 停電による断水 4戸
渋川市	: 配水本管漏水による断水 600戸
富岡市	: 断水 50戸
南牧村	: 断水 5戸
板倉町	: 停電による断水 1,000戸
埼玉県	
埼玉県用水供給事業	: 漏水多数、行田浄水場取水停止 → 再開
鴻巣市	: 停電による断水 → 全戸復旧
杉戸町	: 全戸断水 → 断水なし
秩父市	: 断水約400戸 → 全戸復旧
小川町	: 断水約650戸 → 断水役10戸（復旧640戸）
ときがわ町	: 断水約100戸 → 全戸復旧
久喜市	: 断水約150戸
千葉県	
佐倉市	: 断水 約3万戸（8万人）
我孫子市	: 断水 51戸
木更津市	: 断水 78戸
君津市	: 断水 446戸 → 断水 388戸（復旧58戸）
成田市	: 断水 30戸 → 断水 20戸（復旧10戸）
旭市	: 断水 18,736戸
長門川水道企業団	: 断水 300戸
香取市	: 断水 19,800戸
神埼町	: 断水 1,834戸
八咫（はっそう）水道企業団	: 断水 14,681戸

- 東京都
- 町田市、稲城市 : 断水
- 神奈川県
- 神奈川県企業庁 : 断水 2,250戸 →断水 70戸 (復旧1,180戸)
- 川崎市 : 復旧済み
- 横浜市 : 断水 260戸
- 三浦市 : 断水 250戸 → 全戸復旧
- 小田原市 : 断水10戸

※県内で他にも断水の可能性あり

- 静岡県
- 県内各市で停電による断水あり
- 長野県
- 高森町 : 断水7戸
- 諏訪市 : 断水15戸
- 豊岡村 : 断水20戸
- 岡谷市 : 断水100戸
- 岐阜県
- 飛驒市 : 導水管破損
- 愛知県
- 名古屋市 : 断水7戸
- 山梨県
- 富士吉田市 : 停電による断水950戸
- 三重県、滋賀県

※漏水ありとの情報があるが、詳細確認中

- 水資源機構

※房総導水路、霞ヶ浦用水において取水を停止

※東総用水送水管破損により送水不可

②応急給水への対応 (日本水道協会による対応)

- 日本水道協会工務部から仙台市に1名派遣
- 中部地方支部から仙台市に3名派遣
- 東北地方及び関東地方の被災地に向けて、全国の応急給水車204台に対し派遣の態勢の整ったところから出発するよう要請済みであり、移動中に携帯電話のメールを利用し、日本水道協会本部から行き先を指示する予定。
なお、首相官邸に給水を要望する現地病院等の情報が入っており、その情報も考慮して応急給水車の行き先を指示する予定。
- 現時点で、宮城県へ5台、栃木県へ6台、茨城県へ4台、千葉県へ3台派遣済み。

○社会福祉施設関係 (3月12日7時00分現在)

- 被災した社会福祉施設の状況 (詳細は別紙)

区 分	施設数
児童福祉施設	56
老人福祉施設	63
障害福祉施設	58
その他福祉施設	4
計	181

○保健所の活動状況

・宮城県

- 仙南保健所 避難住民への健康チェック実施
- 栗原保健所 栗原市へ被害状況の確認のため職員を派遣
- 登米保健所 登米市へ被害状況の確認のため職員を派遣
- 石巻保健所 避難住民への健康チェック実施

・茨城県

- 日立保健所 病院で受入れができない患者20名程度受入中

・千葉県

- 市原保健所 コスモ石油のタンク火災による対応
避難所の設置状況、住民の避難状況調査
事故現場及び周辺の毒劇物関連施設の状況情報収集
管内住民の被害状況の情報収集

(4) 医薬品・物資調達関係

○血液製剤の供給関係

・血液センターの被害状況

- 宮城県：自家発電から商用電源に回復。ただし、検査機器を点検中のため、検査・製造機能に支障あり。また、断水の状況にある。冷蔵庫、冷凍庫とも稼働中。
- 青森県：自家発電により給電中。製造の機器を自家発電に接続していないので、製造機能に支障あり。
- 岩手県：自家発電により給電中。
- 秋田県：自家発電により給電中。自家発電による給電中の製造機能に支障があり。
- 山形県：自家発電により給電中。
- 福島県：停電はしていない。製造機能は維持。
- 茨城県：自家発電により給電中
- 千葉県：停電なし

埼玉県：検査・製造機能に支障なし。

大宮駅の献血ルームで水道管破裂により、また、川口駅の献血ルームは建物倒壊の恐れにより、採血に支障がある。

東京都：製造・検査に支障なし。

新潟県、長野県：被害なし

※その他の都道府県の血液センターの被害状況については、被災の報告はない。

※日赤十字社では血液製剤の製造の集約を進めており、東北地域は宮城県が集約先。岩手県、山形県は既に集約済み。

・血液製剤の在庫状況

①赤血球製剤（有効期間21日）、血漿製剤（有効期間1年）

…現時点で在庫状況に大きな問題なし

②血小板製剤（有効期間4日）

…昨日午後に血小板成分採血が出来なかったため、本日の供給に支障が生じる可能性あり。需要は昨日までにオーダーがあったもの。地震による需要増ではない。（現状では、血小板10単位製剤が東北地方で18本、東京で85本程度不足の見込み。）

→・オーダーがあった医療機関に連絡をとり、輸血を延期できるか確認。

・最終的に不足が生じる場合は、他の地域から輸送するとともに、需要に応じて血小板成分採血を強化する。

・献血の状況

12日は東北6県で献血を中止。12日は施設や機器の復旧に務め、13日以降、ライフラインの復旧に応じて、採血可能な施設から献血受け入れを再開する見込み。今後、東北地方で不足が生じた場合は、他の地域から輸送により対応。

・医療機関への供給状況

現時点でオーダーがあった医療機関への供給は行われている。

○医薬品・医療機器関係（3月12日6時00分現在）

①製造業・卸売業の工場等の被害状況

・東北地方のいくつかの工場では停電により出荷を停止

・物流センターでは、津波や天井の崩落により使用不能となっているところあり

※ 被害地域の全状況を確認出来ているわけではない

②医薬品・医療機器の需要・供給状況

・傷病者の増加、避難所の設置等に伴い、需要が増加しているか、供給が間に合っているか情報収集中

③都道府県からの要請への対応

・岩手県 紙おむつの補給要請があり、メーカーへ在庫状況の調査を要請

・宮城県 在宅医療等医療用ガスの補給要請があり、メーカーへ要請

○生協関係

- ・日本生協連により、食料品等（カップ麺、お茶、クッキー、カイロなど）を3月11日に配送開始予定。
 - ・みやぎ生協、岩手生協において、対策本部を立上げ、店頭で商品の供給をしている模様。
- ※生協や県連合会は、県や市町村等と、以前から災害時物資供給協定を締結

3 その他

【現在発出している通知等】

- ・避難所等における食中毒や感染症の発生予防に努めること及び食中毒や感染症の発生時は適切な対応を行い、二次災害を防止することを各都道府県に依頼（3月11日 健康局結核感染症課、医薬食品局食品安全部監視安全課）
- ・災害時の人工透析の提供体制及び難病患者等への医療の確保を行うために、社団法人日本透析医会災害時情報ネットワークの活用など、日本透析医会との連携をとるよう各都道府県に依頼（3月11日 健康局疾病対策課）
- ・東北地方太平洋沖地震の被災者に対し、「エコノミークラス症候群」の予防を図るよう、各都道府県に依頼（3月11日 健康局疾病対策課）
- ・生活福祉資金貸付について、被災した世帯に対して、特例措置を講ずる旨を各都道府県に通知（3月11日 社会・援護局）
- ・要援護者に対する社会福祉施設における緊急的措置として、施設の定員を超えて受入れを行うとともに、施設の空きスペースなどを福祉避難所として提供するよう、全国社会福祉協議会を通じ依頼（3月11日 社会・援護局総務課）
- ・要援護者の社会福祉施設等の受入等についての考えられる取組や留意事項及び特例措置等について都道府県等に通知（3月11日 雇用均等・児童家庭局総務課、社会・援護局総務課、社会・援護局障害保健福祉部企画課、老健局総務課）
- ・被災した視聴覚障害者等に対する情報・コミュニケーション支援について、視聴覚障害者等の状況・ニーズを把握するとともに、ボランティアや関係団体等と連携を密にし、特段の配慮をするよう依頼（3月11日 社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室）
- ・被災した要援護障害者等への対応について、避難所等における対応、障害者支援施設等における受け入れ、補装具費支給及び日常生活用具給付等事業の弾力的な運用、視聴覚障害者のコミュニケーション支援、利用者負担の減免等について、都道府県等に連絡（3月11日 社会・援護局障害保健福祉部企画課・障害福祉課・精神・障害保健課）
- ・被災した要介護者等に関して、実態把握に努めること、介護サービス事業者等に対す

る協力依頼、介護保険施設等の施設・設備基準等に関する柔軟な取扱い、利用者負担の減免について、各都道府県に依頼（3月11日 老健局総務課、介護保険計画課、高齢者支援課、振興課、老人保健課）

- ・避難生活が必要となっている高齢者、障害者等の要援護者について、被災自治体から旅館、ホテルに対して避難所等として受入要請があった場合の協力について、全国旅館ホテル同業組合連合会等に依頼（3月11日 健康局生活衛生課）
- ・避難生活が必要となった高齢者、障害者等の要援護者について、旅館、ホテル等の避難所としての活用や緊急的措置として社会福祉施設への受入を行って差し支えないこととするとともに、社会福祉施設等の職員確保が困難な施設について、広域的調整の下で職員派遣を行うよう依頼（3月11日 雇用均等・児童家庭局総務課、社会・援護局総務課災害救助・救援対策室・福祉基盤課、社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課、老健局総務課）
- ・被災した後期高齢者医療制度被保険者に係る一部負担金の減免及び保険料の取扱いについて各都道府県等に連絡（3月11日 保険局高齢者医療課）
- ・国民健康保険においては、保険者の判断により、一部負担金の減免及び徴収猶予並びに国民保険料（税）の減免、徴収猶予並びに納期限の延長を行うことができること等について、各都道府県に連絡（3月11日 保険局国民健康保険課）
- ・健康保険においては、保険者の判断により、一部負担金等の減免等及び保険料の納期限の延長等ができること等について、健康保険組合等に連絡（3月11日 保険局保険課）
- ・被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡（3月11日 保険局医療課）
- ・公費負担医療を受けている被災者が、医療機関において手帳、患者票等の提出ができない場合においても、受診が可能である旨を都道府県に連絡（3月11日 健康局総務課・疾病対策課・結核感染症課、雇用均等・児童家庭局母子保健課、社会・援護局保護課・援護企画課、社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課）
- ・社会保険診療報酬支払基金に対し、前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、病床転換支援金、老人保健拠出金、退職者給付拠出金及び介護給付費・地域支援事業納付金の納付猶予を必要とする保険者を把握するとともに、速やかに納付猶予の申請を行うよう依頼（3月11日 保険局総務課医療費適正化対策推進室・高齢者医療課・国民健康保険課、老健局介護保険計画課）
- ・労災保険給付の請求に係る事務処理に関して、請求書提出時の弾力的取扱い、今回地震に伴う傷病の業務上外等の考え方、相談・請求の把握について都道府県労働局に指示（3月11日 労働基準局労災補償部補償課長）

- ・災害救助法の適用区域に所在する雇用保険の適用事業所に雇用される被保険者の中で、災害により事業を休業するに至ったため一時的に離職を余儀なくされた者であり、かつ、離職前の事業主に再雇用されることが予定されている者に対して、雇用保険の基本手当を支給する特例措置を実施（3月11日 職業安定局雇用保険課）
- ・医療機関等に対する医薬品、医療機器等の供給に支障が生ずることがないように、また、適正な流通を阻害することがないように、万全の措置を講ずるよう関係団体に依頼（3月12日 医政局経済課）

平成23年3月12日
経済産業省
原子力安全・保安院

地震被害情報（第13報） （3月12日午前11時0.0分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東北電力(株)東通原子力発電所、女川原子力発電所、東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

【三陸沖で発生した地震】

1. 災害概要

(1) 発生日時：平成23年3月11日（金） 14：46発生

(2) 発生場所：震源三陸沖（北緯38度、東経142.9度）

深さ10km、マグニチュード8.8

(3) 各地の震度

○震度4以上の地域

震度7 宮城県北部

震度6強 茨城県北部、茨城県南部

震度5強 青森県三八上北

震度5弱 新潟県中越

震度4

○震度4以上の市町村

震度6強 福島県楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町

震度6弱 宮城県石巻市、女川町（発電所の震度計による）、東海村

震度5弱 新潟県刈羽村

震度4 青森県六ヶ所村、東通村、新潟県柏崎市、神奈川県横須賀市

震度1 北海道泊村

2 発電所の運転状況【自動停止号機数：10基（3月12日11:00現在）】

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

(1) 運転状況

- 1号機 (52万4千kW) (自動停止)
- 2号機 (82万5千kW) (自動停止)
- 3号機 (82万5千kW) (自動停止)

(2) モニタリングポスト※等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無
主排気筒モニタ指示値の変化： 無

(3) その他異常に関する報告

タービン建屋地下1階の発煙は、11日22:55に消火確認。

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

(1) 運転状況

- 1号機 (46万kW) (自動停止)
- 2号機 (78万4千kW) (自動停止)
- 3号機 (78万4千kW) (自動停止)
- 4号機 (78万4千kW) (定検により停止中)
- 5号機 (78万4千kW) (定検により停止中)
- 6号機 (110万kW) (定検により停止中)

(2) モニタリングの状況

- ・モニタリングカーにより周辺監視区域境界近傍の放射性物質測定を行ったところ、12日4:00現在と比較して数値の上昇を確認。(12日9:40現在)

MP6付近(正門) $0.07\mu\text{SV/h} \rightarrow 5.1\mu\text{SV/h}$ (4:00→9:10)

MP8付近(展望) $0.07\mu\text{SV/h} \rightarrow 2.9\mu\text{SV/h}$ (4:00→9:40)

(3) その他異常に関する報告

- ・原子力災害対策特別措置法第10条通報(福島第一原子力発電所3号機)
- ・同第15条通報(福島第一原子力発電所1、2号機)
- ・福島第一発電所注水機能回復のための電源確保の状況
電源車からのケーブルのつなぎ込み作業中。(12日11:00現在)
- ・1号機の格納容器内圧が上昇しており、圧力減少のために蒸気の放出作業中。

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

(1) 運転状況

- 1号機 (110万kW) (自動停止)
- 2号機 (110万kW) (自動停止)
- 3号機 (110万kW) (自動停止)
- 4号機 (110万kW) (自動停止)
- (2) モニタリングポスト等の指示値
 - モニタリングポスト指示値の変化： 無
 - 主排気筒モニタ指示値の変化： 無
- (3) その他異常に関する報告
 - 火災の報告等なし。

1号機にて原子力災害対策特別措置法第10条通報

1、2、4号機にて原子力災害対策特別措置法第15条通報

3 産業保安

○電気

- ・東京電力 (3月12日 10:49 現在)

現在の停電戸数：約9.7万戸で停電中。

主な停電地域：茨城県：全域

栃木県：東部全域、宇都宮市、真岡市

千葉県：香取市、山武市

- ・東北電力 (3月12日 9:00 現在)

現在の停電戸数：約42.2万戸と推計 (引き続き調査中)

主な停電地域：青森県、岩手県、秋田県、宮城県の全域停電。山形県はほぼ

全域で停電。福島県、新潟県で一部停電有り。

- ・北海道電力 (3月12日 10:00 現在)

現在の停電戸数：約1.60戸

主な停電地域：様似町市

- ・中部電力 (3月12日 7:30 現在)

現在の停電規模：約1.00戸 (長野県内)

○一般ガス 3月12日 10:20 現在

日本ガス協会は、仙台市からの要請を受け、日本ガス協会として先遣隊6班30名を派遣 (内訳：5班が仙台、1班が常磐方面)、12日7時過ぎ現地に向け出発。

12日1:00時点、仙台市営ガス、気仙沼市営ガス、石巻ガス、に連絡が取れない。北海道、青森県、山形県、秋田県の都市ガス供給区域においては、供給停止が無いことを日本ガス協会から確認済み。

- ・東京ガス

日立支社エリア (日立市全域)

30,008戸供給停止。製造設備に被害はないが、停電のため操業できない。

11日 18:45 点検のため先遣隊 8 名が出発し、12日 06 時現地到着済み。復旧計画について12日午後目途に策定予定。復旧時期未定。

常総支社東部地区 牛久市 4 5 3 戸供給停止 (11日 17:10 供給再開)
牛久市牛久町 4 7 1 戸供給停止(11日 22:36 供給再開)
竜ヶ崎市 7 7 戸供給停止 (11日 16:20 供給再開)
横浜市西区 4 0 戸供給停止 (11日 17:29 供給再開)

袖ヶ浦 LNG タンクのノズルからガス漏れ。(着火は無し) (12日 02:30 復旧済み)

- ・仙台市営ガス 全面供給停止 (約 3 6 万戸)
- ・塩釜ガス 約 1 万 2 千戸供給停止。(仙台市営ガスからの受入れが停止のため、供給地域の全てにおいて供給停止)
- ・釜石ガス 供給停止約 10,000 戸 工場 1 階水没
- ・秦野ガス (秦野市) 約 3 3 0 戸供給停止
- ・京葉ガス 中圧導管の 5 箇所漏えい 低圧導管では漏えい多数。
浦安市で 5,445 戸の供給支障
八千代ステーションの受入れ停止中
- ・九十九里町営ガス (千葉県九十九里町) 約 2 5 8 戸供給停止
- ・厚木ガス 中圧導管で 1 箇所ガス漏れ有り。
- ・福島ガス (福島市の一部) 約 2,726 戸供給停止
- ・東北ガス (白河市) 3 0 0 戸供給停止
- ・常磐共同ガス (いわき市) 約 14,000 戸 (全戸) 供給停止
- ・東部ガス (土浦市の一部) 7,500 戸供給停止
- ・東彩ガス (春日部市) 導管ガス漏えい、マンション 1 5 0 世帯への供給停止中。
- ・小田原ガス (小田原市) 低圧支管 1 箇所、炉外内管 3 箇所ガス漏えいが見つかったが、11日 21:30 復旧済み。他の箇所を引き続き調査中。

○簡易ガス (3月 12日 10:20 現在)

- ・日本簡易ガス協会：茨城県北部以北などの情報がまだ把握しきれていない。
- ・東京ガスエネルギー (北茨城市) 中郷ニュータウン導管破損 9 4 3 戸供給停止。
- ・佐藤興産 (さいたま市岩槻区) 岩槻分譲住宅団地：
導管からガス漏えい、4 5 1 地点供給停止
- ・首都圏ガス (佐倉市) 千成団地
ガス漏れ発生 (ガス管破損の可能性) 1 3 2 0 戸供給停止
- ・鹿島マル井ガス (神栖市) 三番蔵分譲団地導管破損 5 2 7 戸供給停止。復旧の目途たらず。
- ・今市ガス 日光市内の簡易ガス団地で導管ガス漏えい、2 4 0 戸で供給停止。

・日本ガス 管内の簡易ガス団地で導管ガス漏えい、那須烏山市76件、稲敷市97件、那珂郡東海村594件、矢板市で370件、潮来市3299件の簡易ガス供給停止中。

潮来市以外は12日中にも復旧予定。潮来市(日の出団地)1876戸は液状化の影響で住民全員避難、復旧目途立たず。

野田市212戸供給停止(11日中に復旧済み)

- ・堀川産業(茨城県坂東市)岩井グリーンランド 液状化現象により566戸供給停止。
- ・田島 八王子市内の簡易ガス団地で250件の供給停止。12日中に復旧見込み。

○ガス導管事業者(3月12日10:20現在)

- ・JX日鉱日石エネルギー 八戸LNG基地
津波第二波のため、所内、電気室、自家発電設備が冠水したため、ガス放出が停止。

11日23時過ぎ時点、天然ガス鉱業会によると、導管事業者のパイプラインに被害はないとのこと。

○熱供給(3月12日10:20現在)

- ・山形熱供給(山形市)供給停止
- ・小名浜配湯(いわき市小名浜)供給停止中(熱源配管が損傷)。配湯供給埋設管にも影響があると予想される。復旧目途たたず。
- ・日立熱エネルギー(日立市)11日15:19停電のため供給停止中
- ・千葉熱供給(千葉市)11日16:19冷凍機等、点検実施・供給停止中
- ・西池袋熱供給(豊島区)11日15:45冷凍機・ボイラー停止中
- ・東京熱供給 11日15:20竹芝、有楽町、ボイラー停止
11日21:35光が丘団地(練馬区)集合住宅1棟について配管漏れのため、3時間程度供給を停止して修理。(12日0:05供給再開)

・横浜ビジネスパーク熱供給(横浜市保土ヶ谷区)

11日15:50 PREZZO棟への蒸気・冷水供給が停止

11日16:20 仮修繕のうえ、復旧

○コンビナート(3月12日11:00現在)

- ・コスモ石油千葉製油所(千葉県市原市)
ブタンブチレン貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者1名、軽傷4名

・JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所(宮城県仙台市)

低温LPGタンクが爆発し、火災が発生。

4 原子力安全・保安院等の対応

【3月11日】

- 14:46 地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置
- 15:42 福島第一原子力発電所1号機にて原子力災害対策特別措置法第10条通報
- 16:36 福島第一原子力発電所1、2号機にて事業者が同法第15条事象発生判断(16:45通報)
- 18:08 福島第二原子力発電所1号機にて原子力災害対策特別措置法第10条通報
- 18:33 福島第二原子力発電所1、2、4号機にて原子力災害対策特別措置法第10条通報
- 19:03 緊急事態宣言
- 20:50 福島県対策本部は、福島第一原子力発電所1号機の半径2kmの住人に避難指示を出した。(2km以内の住人は1864人)
- 21:23 内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第15条第3項の規定に基づく指示を出した。
- ・福島第一原子力発電所1号機から半径3km圏内の住民に対する避難指示。
 - ・福島第一原子力発電所1号機から半径10km圏内の住民に対する屋内待避指示。

【3月12日】

- 5:22 福島第二原子力発電所1号機にて原子力災害対策特別措置法第15条通報
- 5:32 福島第二原子力発電所2号機にて原子力災害対策特別措置法第15条通報
- 5:44 総理指示により福島第一原子力発電所の10km圏内に避難指示
- 6:07 福島第二原子力発電所4号機にて原子力災害対策特別措置法第15条通報
- 6:50 原子炉等規制法第64条第3項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第1号機及び第2号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。
- 7:45 内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第15条第3項の規定に基づく指示を出した。
- ・福島第二原子力発電所から半径3km圏内の住民に対する避難

指示。

・福島第二原子力発電所から半径1.0 km圏内の住民に対する屋内待避指示。

【長野県北部で発生した地震】

1. 災害概要

(1) 発生日時：平成 23 年 3 月 12 日（土） 3：59 発生

(2) 発生場所：長野県北部（北緯 37 度、東経 138.6 度）

深さ 10km、マグニチュード 6.6

(3) 各地の震度

○震度 5 弱

新潟県柏崎市、新潟県刈羽村

2 発電所の運転状況

○東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市）

(1) 運転状況

1号機（110万kW）（運転継続中）

2号機（110万kW）（定検により停止中）

3号機（110万kW）（定検により停止中）

4号機（110万kW）（定検により停止中）

5号機（110万kW）（運転継続中）

6号機（135.6万kW）（運転継続中）

7号機（135.6万kW）（運転継続中）

(2) モニタリングポスト等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無

主排気筒モニタ指示値の変化： 無

(3) その他異常に関する報告

火災の報告等なし。

3 産業保安

○一般ガス

長野都市ガス（長野市）、上越市営、妙高市営、小地谷市営、見附市営、柏崎市営、北陸ガスの長岡地区（長岡市） 供給停止無し。

※被害のないことが確認された施設については、次回から削除することといたします。

住民避難の状況

(3月12日 10:50 OFC住民安全班からの連絡)

ERC住民安全班

- 大熊町 把握している人数のうち、2/3程度完了
- 双葉町 把握している人数のうち、80%完了
- 富岡町 人数把握している状況、渋滞で見通したたず
- 浪江町 人数把握している状況、渋滞で見通したたず
- 楢葉町 人数把握している状況、渋滞で見通したたず

- ・まだ、避難は完了していない。
- ・避難所が一杯になれば、別の避難所に避難させることになる。

10km圏内の住人数

	福島第一 周辺地域		福島第二 周辺地域	
	0~10km		0~3km	0~10km
富岡町	14,808	富岡町	6,534	15,961
大熊町	11,363	大熊町	—	7,127
双葉町	7,243	広野町	—	1,238
浪江町	17,793	楢葉町	1,515	8,100
計	51,207	計	8,049	32,426

原子力安全・保安院原子力安全広報課

塩見、杉山

電話：03-3501-5890

東北地方太平洋沖地震について（第8報）概要版

1. 地震の概要

- 発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃
- 震度7 宮城県北部
- 震源の深さ約10km、マグニチュード8.8（推定）
- 大津波警報 岩手県、宮城県、福島県などの太平洋沿岸に大津波警報が発令

2. 国土交通省の対応

- 11日14:46 本省非常体制
- 11日15:15 国土交通省緊急災害対策本部設置
- 宮城県庁（5人）、岩手県庁（2名）、青森県庁（4名）、福島県庁（2名）、福島県内市町村（4名）、陸自東北総監部（2名）へリエゾンを派遣
- 11日15:45 第1回国交省緊急災害対策本部会議
- 11日17:00 第2回国交省緊急災害対策本部会議
- 11日18:00 政府調査団の一員として市村政務官他2名を派遣（宮城方面）
- 11日19:30 第3回国交省緊急災害対策本部会議
- 11日22:00 第4回国交省緊急災害対策本部会議
- 12日05:30 第1回新潟中越地方を震源とする地震についての災害対策本部会議
- 12日07:00 第5回国交省緊急災害対策本部会議
- 12日10:45 第6回国交省緊急災害対策本部会議
- 12日 政府調査団の一員として津川政務官他2名を派遣（宮城方面）
- 12日 政府調査団の一員として職員1名を派遣（岩手方面）
- 12日早朝 TEC-FORCEを派遣（本省、中部、近畿、中国、四国）
- 首都圏の帰宅困難者対策としてバスの増便、運行時間の延長、タクシー会社への協力要請
- 国交省ヘリコプター被害調査
民間ヘリ1機、国交省ヘリ7機で被害調査中
- 海上保安庁対応勢力
巡視船艇322隻、航空機45機、特殊救難隊10名で救援活動中

3. 所管施設等の被害状況

●鉄道

東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線の3新幹線 運転休止中
JR東日本在来線、民間鉄道 数十路線のうち徐々に運転再開中

●道路

高速道路43、直轄国道88、補助国道60、地方道203の路線で通行止め

●空港

仙台空港、山形空港、奄美・喜界空港の3空港で閉鎖中

●バス等

京浜急行バス、JRバス関東等の161事業者で運休中

フェリー60航路(56事業者)で運休中

●河川

各河川で堤防のりすべり、液状化、堤防沈下等を確認

名取川において、津波遡上、堤防越水、家屋流出(報道情報)

鳴瀬川において、破堤との情報あり(確認中)

国交省所管ダムは大きな被害は確認されていない

土砂災害5件ほか土砂崩壊多数発生

●港湾・海岸

津波警報発令中で点検待機中

港湾施設に損傷がある模様

東北地方太平洋沖地震における国土交通省の今後の対応方針

未曾有の地震が発生し、甚大な被害が発生したことを踏まえ、人命救助を第一義として、被災者の救援救助活動等に全力を尽くす。

国土交通省の有する、陸・海・空にわたる施設、人員、資機材等をフルに用い、情報の的確な把握と提供、被災地への緊急輸送のための交通確保、迅速な所管施設の応急復旧を実施するとともに、被災した県・市町村への支援を強力に進めていく。

[直ちに実施する事項]

- ①海上保安庁ヘリコプター等による調査、救助作業（夜明けとともに実施、現在実施中）
 - ・ヘリコプター2機及び固定翼2機により、宮城県及び福島県沿岸部の被害調査及び救助を実施（青森県、岩手県及び茨城県沿岸部は自衛隊が実施）、
 - ・右巻港において約80名が乗組したまま漂流している建造中の船舶の救助をヘリコプター2機により実施（自衛隊はヘリコプター1機を投入）【海上保安庁】
- ②防災ヘリコプターによる調査（夜明けとともに開始、現在実施中）

みちのく号：岩手内陸部	あおぞら号：関東地整管内
まんなか号：岩手県海岸部	ほくりく号：北陸地整管内
きんき号：宮城県内	愛ランド号：福島県内
- ③緊急輸送のための交通の確保
 - 陸：高速道路、国道・県道がネットワークとして緊急輸送路となるよう早期復旧に努める【道路局】
 - ：輸送協定に基づくトラック協会等との調整の実施【自交局】
 - 海：港湾施設の安全確認と早期の岸壁利用の実施【港湾局】
 - ：物資輸送に供することができる船舶の調査の実施【海事局】
 - ：港湾輸送事業者への応援要請【港湾局】
 - 空：輸送拠点として花巻空港の利用【航空局】
 - ：非救援航空機の飛行自粛要請又は飛行禁止措置【航空局】
- ④津波被災エリアの点検等（津波情報を考慮しつつ実施）
 - 陸：沿岸部の道路の点検の実施【道路局】
 - 海：港湾施設、海岸施設（水門、樋門）の点検の実施【港湾局、河川局】
 - 空：仙台空港【航空局】
 - 河川：堤防、水門等の点検の実施【河川局】
- ⑤TEC-FORCEの派遣（3/12 148名を派遣）
先遣隊、被災状況調査班、応急対策班、情報通信班を派遣

⑥災害対応車両、復旧資機材の派遣、派遣準備

排水ポンプ車14台、照明車16台、対策本部車6台、待機支援車7台、衛星通信車4台を派遣(3/12)

⑦被災者等の支援

帰宅困難者への対応【鉄道局】

エレベーターの閉じ込め状況と救出状況の把握【住宅局】

福島第一原発周辺の住民避難のためのバスの手配【自動車交通局】

⑧所管施設等の点検の実施(夜明けとともに開始、現在実施中)

河川、ダム、砂防施設、道路(沿岸部除く)、官庁営繕、公営住宅、鉄道等

⑨所管施設の緊急復旧の実施

⑩土砂災害危険箇所の点検

震度5強以上の市町村の土砂災害危険箇所の点検を実施【河川局砂防部】

⑪被災建築物応急危険度判定等の支援

応急危険度判定の広域的实施【住宅局、都市・地域整備局】

⑫公営住宅等の空き室状況の把握

地方公共団体及び都市再生機構を通じ公営住宅等の空き室状況の把握【住宅局】

⑬応急仮設住宅の対応準備

発注後2週間で600戸、4週間で4,300戸の生産が可能【住宅局】

⑭建設業界等への要請

応急対策に必要な建設機械、資機材の調達や労働力の確保を関係業界に要請【総合政策局】

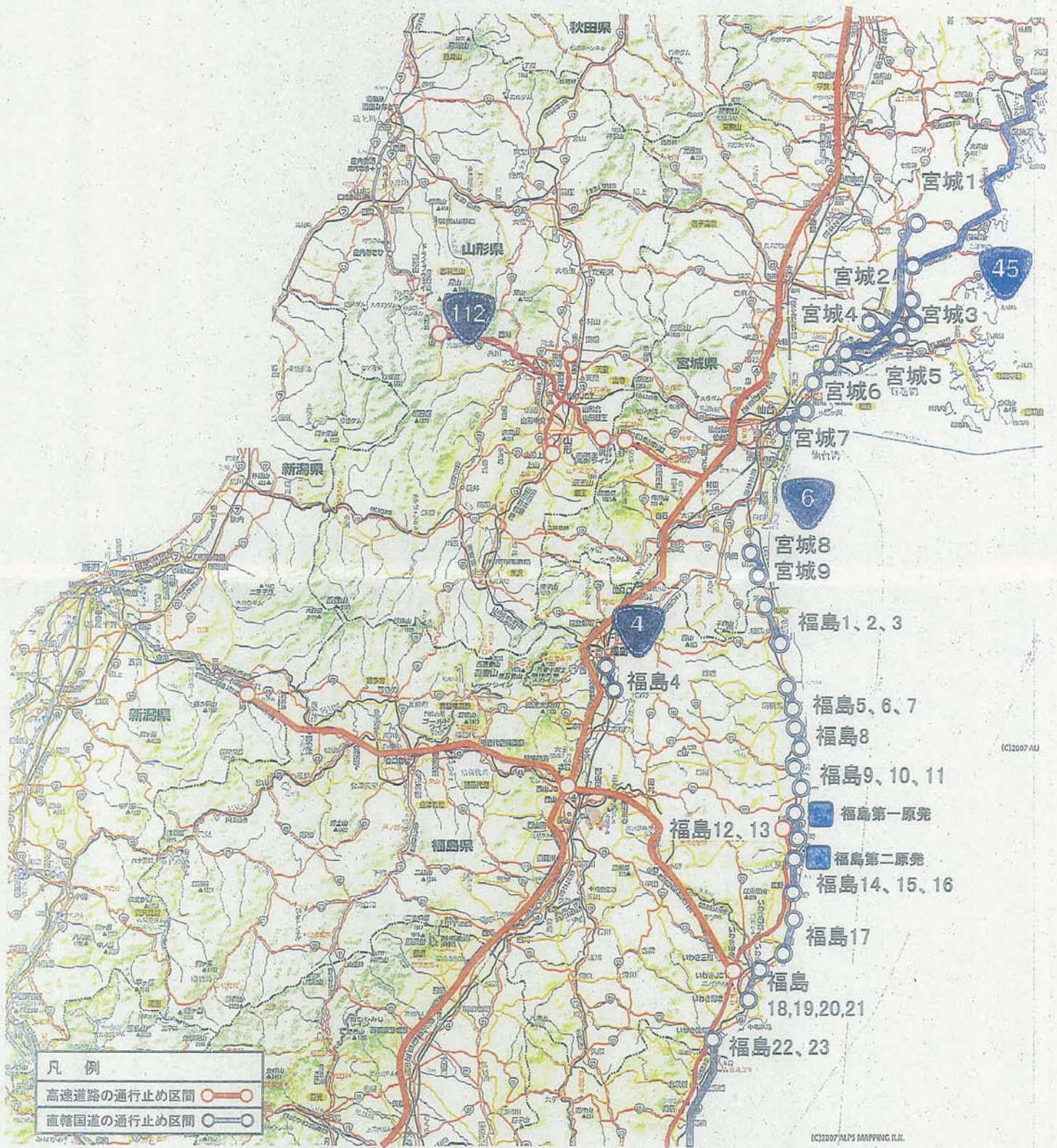
⑮不動産業界への住宅などの斡旋の要請

被災者への住宅の斡旋を要請【総合政策局】

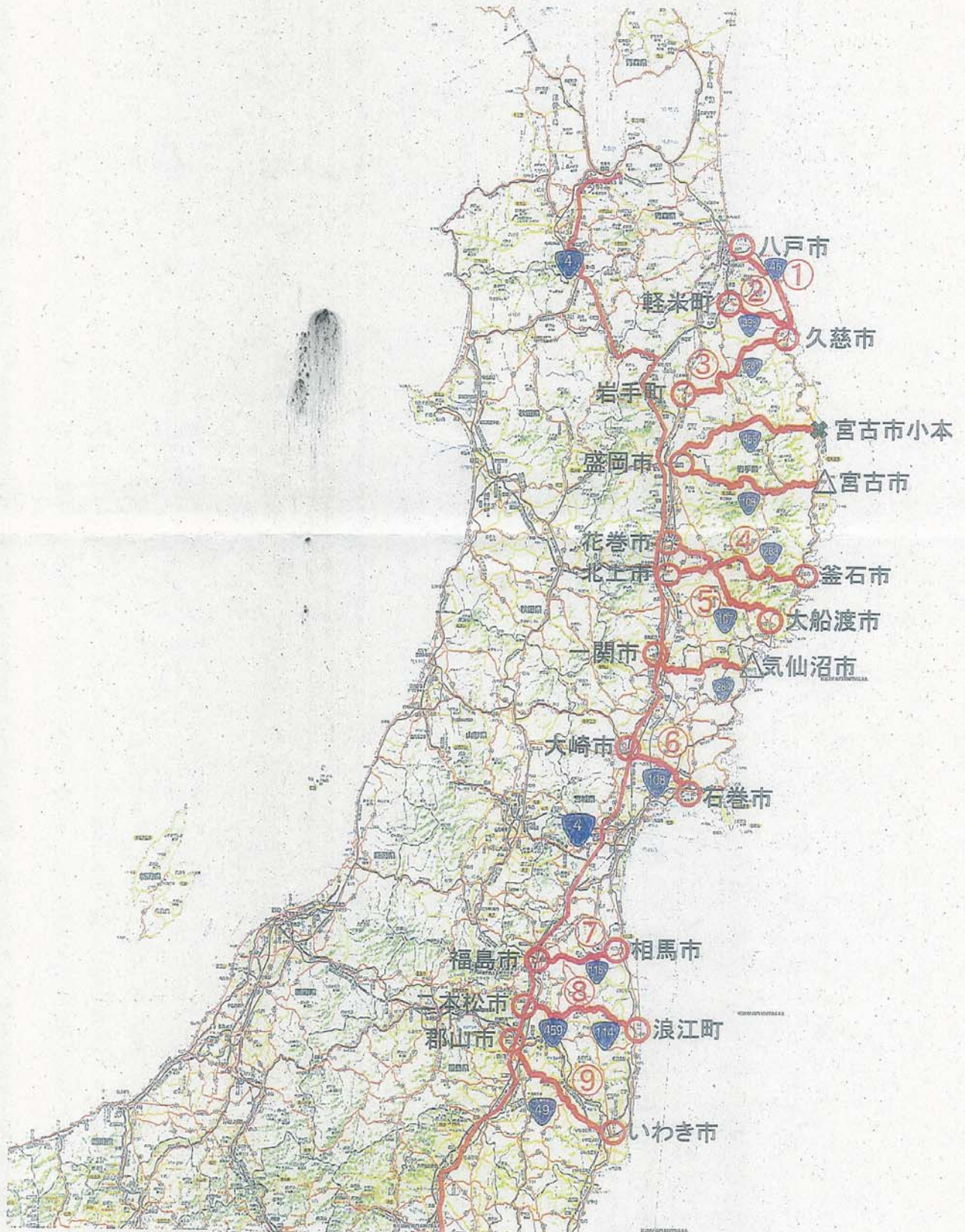
【応急復旧の実施】

施設の点検等を踏まえ迅速に実施

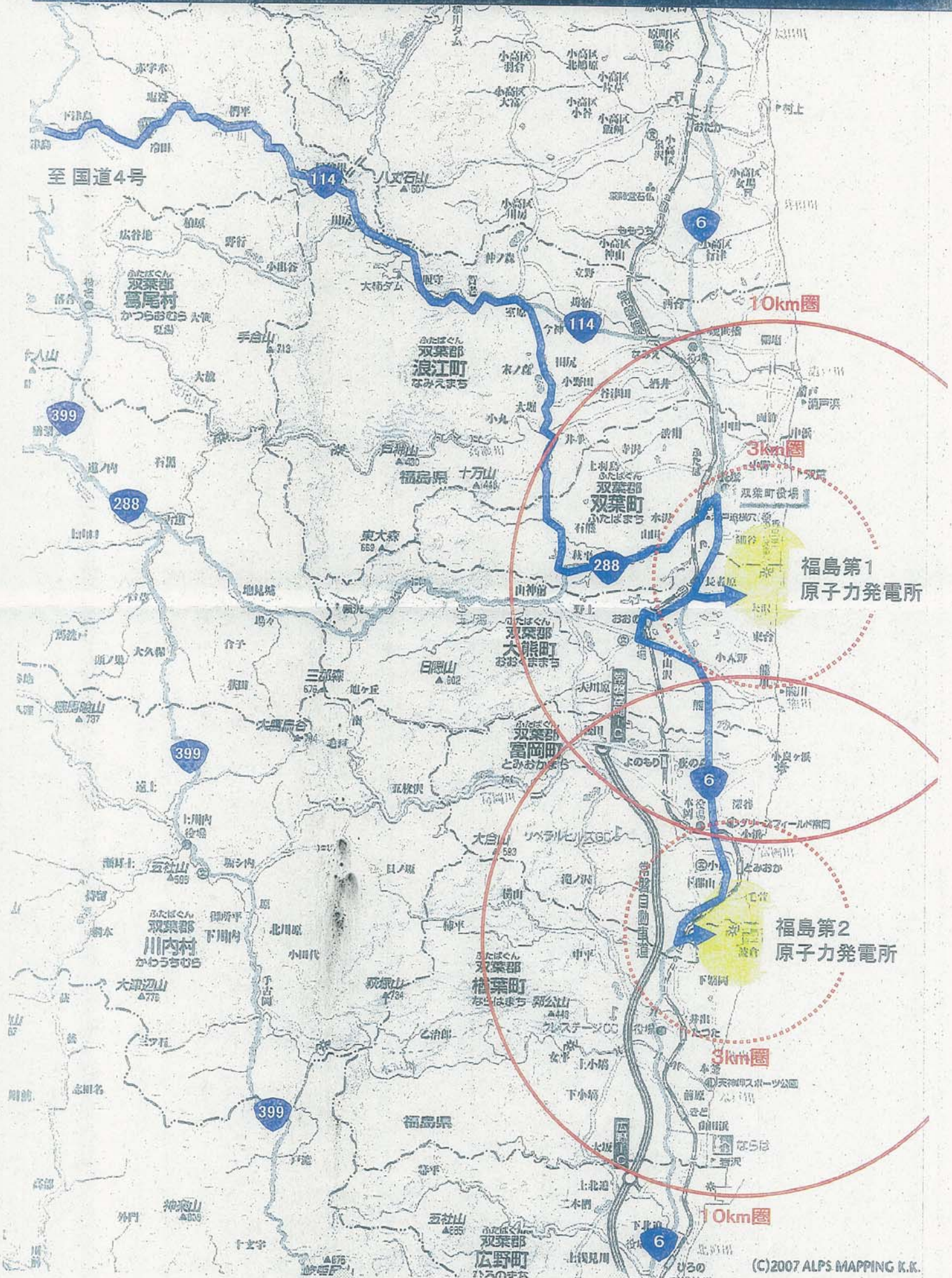
東北地方太平洋沖地震による道路被害状況等について 平成23年3月12日(土) 10時00分 現在



～国道4号から各路線経由で目的都市への啓開状況の確認結果～



福島第1・第2原子力発電所 アクセス



平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に対する自衛隊の活動状況

(10時00分現在)

※数値は速報値であり、今後変わることがある。
※下線部は、前回からの変更箇所

平成23年3月12日
防衛省

【自衛隊の実施事項(調整中含む)】

○大規模地震災害派遣による活動

11日1450防衛省災害対策本部設置(本部長:防衛大臣)

11日1800大規模震災災害派遣命令

11日1930原子力災害派遣命令

航空機による情報収集

被害者の救助

防衛大学が周辺住民約190名を武道館に受け入れ

ヘリコプター映像伝送による官邸及び報道機関等への提供

北部方面隊の人員約900名、車両約250両を米艦艇による輸送(14日以降で調整中)

海自(横須賀)と米海軍(第7艦隊)による共同捜索救難活動(調整中)

○原子力災害派遣による活動

福島第1原発のオフサイトセンターに80名を派遣

○現地調査団等の輸送支援

政府調査団(第1陣:宮城県)の現地派遣

経済産業副大臣及び原子力安全・保安院職員等の現地派遣

総理大臣の現地視察(福島第1原発及び宮城県被災地上空等)

政府調査団(第2陣:岩手県及び福島県)の現地派遣

D-MAT(災害時派遣医療チーム)の輸送支援

【災害派遣要請元】

宮城県知事、岩手県知事、福島県知事、青森県知事、千葉県知事、北海道知事

【連絡員の派遣】

北海道(襟裳振興局、根室振興局、日高振興局、釧路振興局、胆振振興局)、宮城県庁、岩手県庁、秋田県庁、青森県庁、福島県庁、山形県庁

【自衛隊の活動】

(1) 派遣部隊

陸自 第21普通科連隊(秋田)、第39普通科連隊(弘前)、第44普通科隊(福島)、第9特科連隊(岩手)、第4師団(福岡)、第6特科連隊(郡山)、第10特科連隊(豊川)、第35普通科連隊(守山)、第33普通科連隊(久居)、第10師団(守山)、第38普

海自 通科連隊（多賀城）、中央特殊武器防護隊（朝霞）、第12旅団（相馬原）、第1空挺団（習志野）

空自 第1航空群（鹿屋）、鹿屋航空分遣隊（鹿屋）、第2航空群（八戸）、第4航空群（厚木）、第5航空群（那覇）、第21航空群（大湊）、第21航空隊（館山）、第24航空隊（舞鶴）、第31航空群（岩国）

第2航空団（千歳）、第3航空団（三沢）、第6航空団（小松）、第7航空団（百里）、百里救難隊（百里）、浜松救難隊（浜松）、第8航空団（築城）

(2) 派遣規模

人員 約20,000名（東北方面隊中心に派遣・準備中）

航空機 約190機（活動及び準備中）

艦艇 約45隻（活動及び準備中）

(3) 自衛隊による救助状況

○大規模地震災害派遣による活動

【陸自】

- (11日) 1825 東北方面特科隊（仙台）27名人員をもって保育所への救出のため出発し、救援活動を実施中。
- 1845 第2施設団、名取市（宮城県南部）家屋に取り残された10数名救助のため、初動小隊30名派遣
- 第44普通科連隊の人員約80名、車両18両が駐屯地を出発。
- 1900 東北方面航空隊（霞目）UH-1×4機で中野小学校において救出活動実施。（現在は一時中止）
- 1910 第6特科連隊（郡山）第1大隊白河市（福島）8名生き埋め者救助のため出発し、救援活動を実施中。
- 2217 仙台病院に患者20名を收容中。
- 2348 東北方面特科隊が仙台市内の避難所にストーブ約260台を搬送。
- (12日) 0515 第1空挺団（習志野）の人員約40名、車両6両（水トレーラー4両含む）により、給水支援及び輸送支援を実施中
- ・12旅団（人員約2,200名、車両約640両）が郡山駐屯地へ到着。
 - ・10師団（人員約1,000名、車両約230両）が東北道進入
 - ・4師団（人員約4,500名、車両 確認中）が駐屯地を出発。
- 他、細部確認中

【海 自】

- (11日) 2045 八戸基地体育館に770名の避難者、私有車両140両を收容。
 2150 大湊地方隊、毛布1000枚(青森県六ヶ所村500枚、風間浦500枚)を搬出。
 (12日) 0440 教育航空団司令部のP-3C×2機により、毛布500枚、缶飯1,200食を空輸予定。
 他、細部確認中

【空 自】

- (11日) 1810 三沢ヘリ、陸前高田で11名を救助完了
 1848 陸前高田の高台へ11名の救助者を御下
 (12日) 他、細部確認中

航空機の在空状況	陸 自	回転翼 53機、固定翼 1機
	海 自	回転翼 4機、固定翼 6機
	空 自	回転翼 5機、固定翼 12機

艦船の状況	活動中	護衛艦 9隻、輸送艦・補給艦等 5隻
	移動中	護衛艦 9隻、輸送艦・補給艦等 2.2隻

(準備中含む)

○原子力災害派遣による活動

- (11日) 2120 中央特殊武器防護隊の車両7両(化学防護車×4両を含む)が駐屯地を出発。
 (12日) 0205 中央特殊武器防護隊(朝霞)の車両7両(化学防護車×4両を含む)が矢板ICへ到着。
 0225 東京電力のケーブルを輸送するための第1ヘリコプター団のCH47×3機が霞ヶ浦飛行場へ到着。到着後、ケーブルを搭載し、福島第2原子力発電所へ輸送予定。
 0335 中央特殊武器防護隊(朝霞)の副隊長含む2名が福島第一原発付近のオフサイトセンターへ到着。
 0450 中央特殊武器防護隊(朝霞)の先遣隊22名、車両7両(化学防護車×4両を含む)が白河ICへ到着。その後、オフサイトセンターへ向け前進中。
 0648 東北方面隊の人員約100名、車両50両がオフサイトセンターに向け福島駐屯地を出発。(活動場所は、確認中。)
 0830 中央特殊武器防護隊の車両7両(化学防護車×4両を含む)がオフサイトセンター到着。

- ・第44普通科連隊の人員約50名により、原発地域において電源運搬支援を実施中（時間確認中）
- ・第44普通科連隊の人員約30名により、オフサイトセンター周辺において避難誘導活動を実施中。（時間確認中）
- ・第6化学防護隊（郡山）の人員8名が駐屯地を出発。
- ・中央特殊武器防護隊（朝霞）の主力約90名前進準備中。（活動場所は確認中。）

防衛省

番号

2

平成23年 東北地方太平洋沖地震の対処の状況

平成23年3月12日 0900現在

陸上自衛隊の状況

NEA内の自衛隊勢力	
NEA内	2,000名
NEA外	1,000名
合計	3,000名

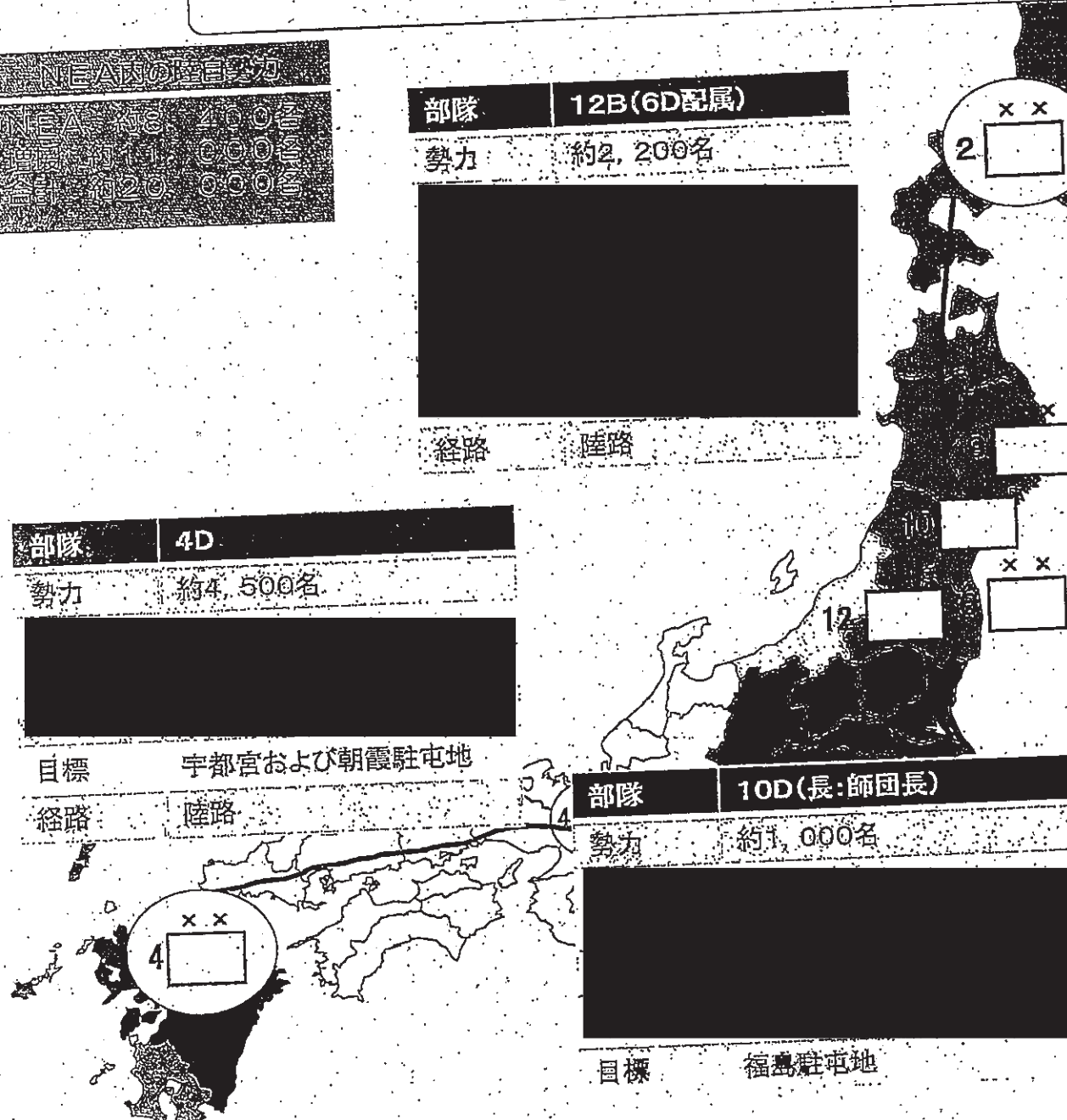
部隊	12B(6D配属)
勢力	約2,200名
[Redacted]	
経路	陸路

部隊	2D
勢力	約3,500名(最大)
[Redacted]	
目標	岩手駐屯地
経路	空路および海路

部隊	4D
勢力	約4,500名
[Redacted]	
目標	宇都宮および朝霞駐屯地
経路	陸路

部隊	10D(長:師団長)
勢力	約1,000名
[Redacted]	
目標	福島駐屯地

部隊	CRF(〜1回)
CH×6 CH×6	
[Redacted]	
輸送手段	空路 空路



/J1-UJ-17-10, JZ/VVI-VVZ

/-34903

-22903

海上自衛隊艦艇現況図

12日0900:現在

艦艇展開状況(29隻)

展開先	隻数
塩釜	3
横須賀	5
相馬	3
ひたちなか沖	1
銚子	1
金華山沖	1
気仙沼	2
大船渡	1
釜石	1
宮古	1
久慈	1
八戸	5
釧路、浦河、苫小牧	1
室蘭沖	1
函館沖	2
余市	1
宮城沖	1

黒文字:現地着
青文字:着予定



7-34903

-22903-

23. 3. 12 0900(1)

空自・海自部隊活動

千歳
F-15×2

空自 U125×1
UH60×2
F2×1
海自 P3C×2

空自: 回転翼×8
固定翼×9
海自: 固定翼×6

空自 U125×1
UH60×2
F15×1
海自 P3C×1

空自 U125×1
UH60×2
F2×1
海自 P3C×2
AWACS×1

海自 UH60
西条沖に漂流中の
船舶の救助

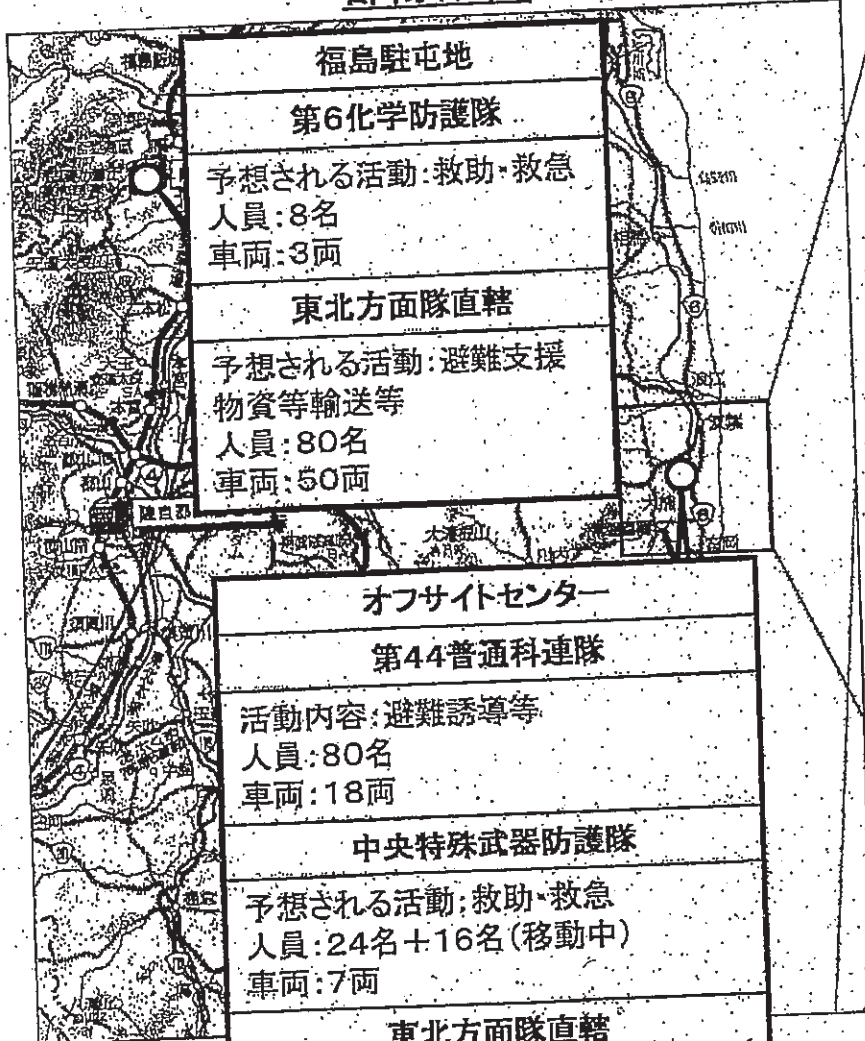
松島基地
所在航空機全機水没

入間
CH47×2

岩国
EP3×1

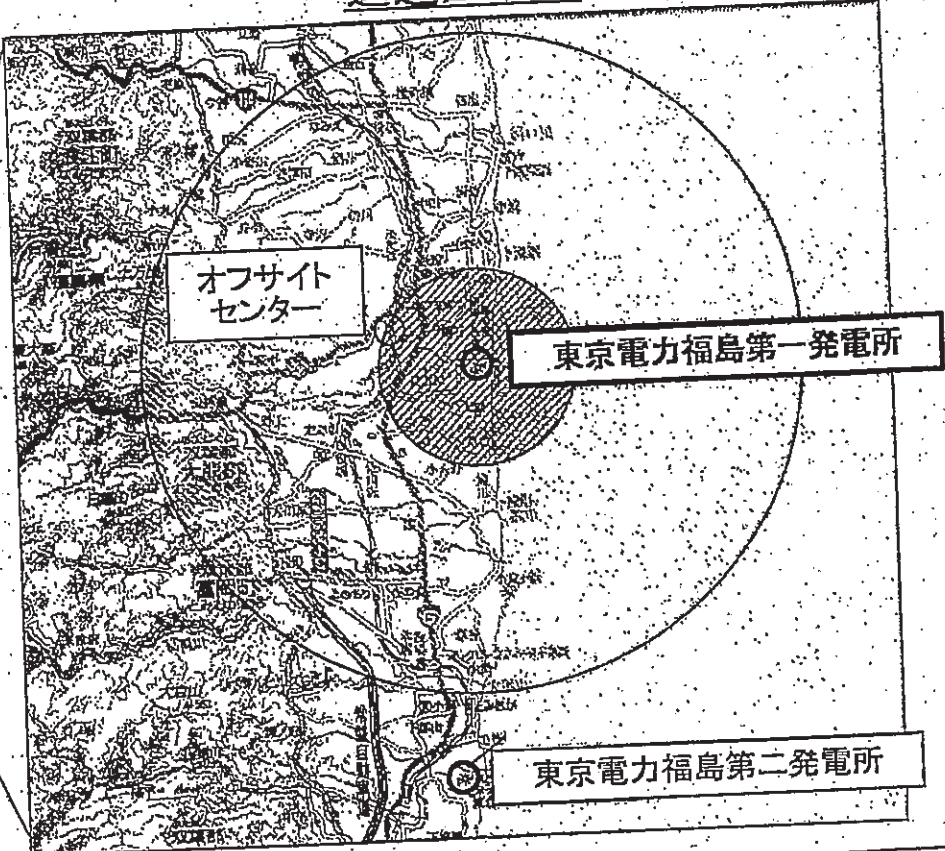
原子力災害対策部隊配置等

部隊配置



福島駐屯地
第6化学防護隊
予想される活動: 救助・救急 人員: 8名 車両: 3両
東北方面隊直轄
予想される活動: 避難支援 物資等輸送等 人員: 80名 車両: 50両
オフサイトセンター
第44普通科連隊
活動内容: 避難誘導等 人員: 80名 車両: 18両
中央特殊武器防護隊
予想される活動: 救助・救急 人員: 24名+16名(移動中) 車両: 7両
東北方面隊直轄
予想される活動: 冷却の支援 人員: 12名 車両: 3両(ポンプ車×2含む)

退避区域等

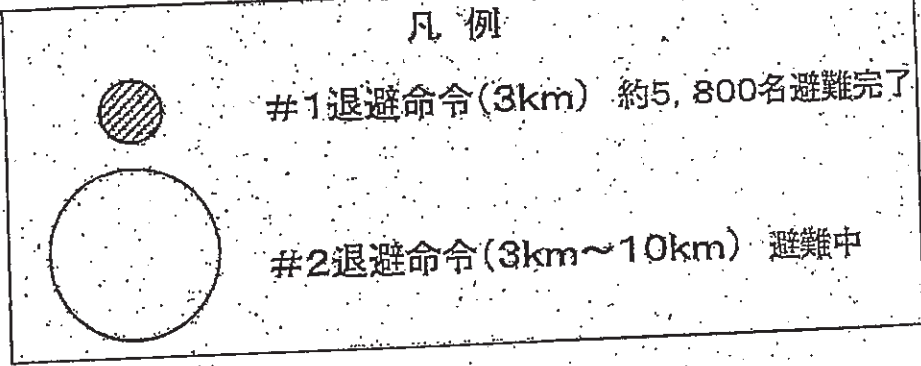


オフサイトセンター

東京電力福島第一発電所

東京電力福島第二発電所

凡例



#1退避命令(3km) 約5,800名避難完了

#2退避命令(3km~10km) 避難中

11-05-12-10:27/VV1-VV2

-34903-

-22903-

法務省の被災状況等について
(東北地方太平洋沖地震(3/11発生)第19報)(含む長野北部地震)

H23.3.12
(午前11時00分現在)
大臣官房秘書課

※下線部は前報からの更新箇所を示す。

第11報から、軽微に係る被害情報等を省略し、重大情報のみ報告

第1 地震の規模等

1 発生日時

3月11日(金)午後2時46分頃

2 震源及び規模

三陸沖 マグニチュード 8.8 深さ10キロ

3 主な震度

・震度7 宮城県北部等

第2 法務省の体制

法務省災害情報連絡室

3月11日(金)午後2時50分 設置

法務省災害対策本部

3月11日(金)午後5時00分 設置

- ・第1回災害対策本部会議開催(17:45)
- ・官邸リエゾン派遣
- ・入管リエゾン派遣(海外支援)
- ・法務省矯正局長通知(収容業務体制の維持等)
- ・東北方面矯正施設への物資等救援準備

第3 被害の有無とその影響

【法務本省】

- ・政務三役 被害なし
- ・本省内各局部課、公安審、公安庁、法総研(除く浦安センター)
物的・人的被害なし(ただし、一部天井パネル落下あり)
- ・登記情報センター 被害なし(システム稼働中)
- ・公安庁恵比寿寮 柵の被害あり

【職員家族】

○安全確認

公安審、人事課、厚生管理官、入管局、訟務部門

○確認中

秘書課、施設課、人権局、司法法制部、法総研、民事局、刑事局、矯正局、保護局、会計課

【所管各庁】

○東北地方の矯正施設の概要

- ・ 刑事施設，少年院を含め，甚大な人的被害，物的被害なし。

○重大な被害等

- ・ 東日本入国管理センター(停電，職員1名が動揺して病院搬送，被収容者2名がガラスで怪我(うち1名が9針の程度)，ガスと水道は復旧，なお，被収容者は落ち着いている。)
- ・ 青森，盛岡公安調査事務所(停電)
- ・ 青森地検(停電，ガルドウン)
- ・ 宇都宮法務局(停電，電話不通，業務継続不可等)
- ・ 石巻拘置支所(浸水(玄関先までにとどまる。)，屋上へ14名避難中→仙台拘置支所へ移動予定→津波の影響により取り止め→2階3階に避難中，水は引いたが交通が遮断されている。)
- ・ 喜連川社会復帰促進センター(職員1名右足軽傷，被収容者1名肩打撲等，1名右手軽傷，1名が右足ねんざ，漏水，段差，停電，下水×，サーバーダウン，ひび割れ多数。ただし，業務継続可能)
- ・ 黒羽刑務所(ひび，断水，停電→3/12復旧)，足利支所(電力復旧)
- ・ 黒羽刑務所大田原拘置支所(停電，断水)
- ・ 宮城刑務所(壁一部崩落，停電)
- ・ 仙台拘置所(停電)
- ・ 古川拘置支所(停電)
- ・ 仙台入国管理局(ライフライン全て停止)
- ・ 仙台入国管理局空港出張所(ライフライン全て停止，建物の耐震性が脆弱につき代替施設を要検討)
- ・ 仙台地方法務局管内全般(停電，一般人避難有り，システムダウン，業務継続不能)
- ・ 同局気仙沼支局(停電，4階まで浸水(6階建て)，5階に約100人避難中→水は引いたものの，未だ避難中。)(来庁者が足を負傷，具合悪い方多数，業務継続不能。2階部分壊滅。なお，3/12 8:00現在連絡つかない。)
- ・ 福島，山形，盛岡，秋田，青森各地方方法務局(システムダウン等)
- ・ 宇都宮地方法務局支所等全般(停電等，業務継続困難，大田原支局の2階が危険につき1階で対応中。)
- ・ 盛岡地検宮古支部(職員無事，津波が来ているが被害不明)
- ・ 福島刑務所及び同支所(停電，自家発中)
- ・ 水戸刑務所(停電，断水，ガス停止)
- ・ 水戸刑務所の水戸拘置支所，土浦拘置支所，下間拘置支所(停電，断水，ガス停止)
- ・ 茨城農芸学院(停電，電話不通等)
- ・ 水府学院(停電，断水)
- ・ 赤城少年院(停電，電話不通，断水)
- ・ 神奈川医療少年院(停電，断水)
- ・ 東北公安調査局，同盛岡事務所(停電，電話不通等)
- ・ 山形地方法務局管内のうち寒河江支局，新庄支局，酒田支局，村山出

張所（停電、業務継続一部困難）

- ・ 青森地方検察庁管内のうち本庁を除く支部区検の大半が停電

○調査中又は連絡の不通の施設

- ・ 宮城刑務所古川拘置支所（連絡不通）
- ・ 山形保護観察所（昨日取れたものの、現在連絡不通）
- ・ 仙台保護観察所（同上）
- ・ 東北地方更生保護委員会（職員3名連絡つかず。）
- ・ 仙台保護観察所（職員4名連絡つかず。）

○原発関係

- ・ 福島局富岡出張所（補佐員含めて職員9名のうち8名安否確認。1名連絡とれず。）
- ・ 福島地検富岡区検（常駐職員はいない。2家族避難中。）

○矯正施設の食事等の状況

- ・ 盛岡少年院 60名（炊き出し自炊中）
- ・ 福島少年鑑別所 9名（非常食対応）
- ・ 山形少年鑑別所 2名（非常食対応）
- ・ 盛岡少年鑑別所 2名（非常食対応）
- ・ 東北少年院（水が足りない。プールの水ろ過予定）
- ・ 福島刑務所、会津支所、いわき支所（非常食対応）
- ・ 青森刑務所、八戸支所、弘前支所（非常食対応等）
- ・ 秋田刑務所（非常食対応）
- ・ 山形刑務所（自家発中）、米沢支所、鶴岡支所、酒田支所（ライフライン不可）

○その他

- ・ 那覇少年鑑別所被収容者18名を那覇拘置支所へ移送
- ・ 八王子医療刑務所から千葉刑務所へ移送中の被収容者4人を、交通事情により松戸拘置支所に収容→21:59更に東京拘置所に移送先を変更（3/12午前2時20分無事到着）。
- ・ 久里浜少年院の被収容者を横須賀刑務所へ移送→取り止め。
- ・ 東北地方を中心に法務省情報ネットワークの使用が困難な状況有り
- ・ 仙台矯正管区は仙台少年鑑別所に機能移転

以上